

ドライブ レコーダー

DRIVE RECORDER

CSD-260

取扱説明書

こちらの製品はシリアルNo.によって仕様が異なり、取扱説明書も二通りあります。

お使いの製品の本体、またはパッケージに貼られてあるシリアルシールをご確認のうえ、下記ボタンからお選びいただき、該当の取扱説明書をご覧ください。

75A03700まで

75A03701以降

ドライブ レコーダー

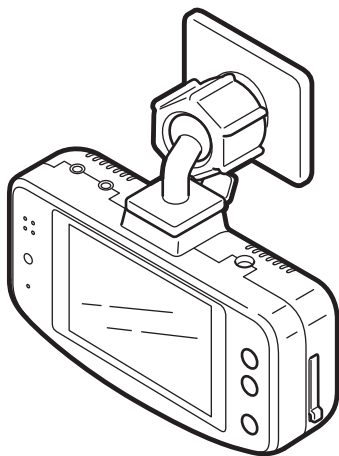
DRIVE RECORDER

CSD-260®

取扱説明書

この度は、当社製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。
なお、お読みになったあとは、大切に保管してください。

本機は、日常の運転をドライブレコーダーで記録し分析することで、安全運転についての改善や、効果的な運転管理を推進し、交通事故の防止および安全運転を促進する目的で製造販売しております。



もくじ

はじめに

はじめに

安全上の注意..... 3

microSDカードについての取り扱い注意事項4

使用上の注意..... 6

録画についての注意事項 6

取り付けについての注意事項 6

ディスプレイについて 6

アイドリングストップ車での使用について 6

製品の特徴..... 7

本体/付属品 7

付属品 7

オプション品 7

各部の名称と機能..... 8

取り付けと準備

取り付け方法..... 9

推奨設置位置 (参考) 9

取り付け位置 正面..... 9

取り付け位置 側面..... 10

本機の取り付け 10

配線処理 11

ヒューズが切れた場合 11

マウントベースから本体を取り外す 11

microSDカードの挿入および取り出し ... 12

microSDカードの挿入 12

microSDカードの取り出し 13

基本操作

製品の使用方法..... 14

電源のON/OFF 14

エラーメッセージ 14

ディスプレイ 15

日時設定の方法 15

録画モード 16

クイック録画機能 (手動) 17

撮影機能 (手動) 17

再生モード 18

外部モニター表示 19

フォーマット 20

システムリセット 20

GPS受信の確認 20

各種の設定..... 21

設定の変更方法 (例: 操作音) 21

設定一覧 22

専用ソフトの説明

専用ビューアー..... 23

専用ビューアーソフトのインストール方法 ... 23

専用ビューアーの使い方 24

専用ビューアー画面の見方 24

専用ビューアーの環境設定 27

microSDカードのデータについて ... 29

困ったときは

故障かな?と思ったら..... 30

その他

製品の仕様..... 31

アフターサービス

アフターサービスについて..... 34

修理に関して 34

修理受付票 35

保証書 裏表紙

各地域のお客様相談窓口一覧 裏表紙

取り付けと準備

基本操作

専用ソフトの説明

困ったときは




その他

アフターサービス




安全上の注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明していきます。





- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 危険	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。
 警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害*の発生の可能性が想定される」内容です。 * 物的損害とは、車両・家屋・家財などに関わる拡大損害を示します。







- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

-  この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。
-  この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。
-  この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。

危険

-  本機は必ず定められた電圧（DC12V/24V）でご使用ください。
* 火災や感電、故障の原因となります。
-  運転中に本機を操作しないでください。
* 交通事故の原因となります。操作する場合は、必ず車を安全な場所に停止させ操作してください。
-  本機をエアバッグが作動する近くに設置しないでください。
* 事故発生時にエアバッグが正常に作動しないおそれがあります。または作動したエアバッグにより負傷の原因となります。
-  医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
* ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与えるおそれがあります。

警告

-  本機の取り付けは、必ずエンジンを切った状態でおこなってください。
* 車両のキーがONの状態を取り付けると、感電および故障の原因となります。
-  本機の結合部分、スピーカーなどの穴やすき間にはピンや針などの金属を入れないでください。
* 誤って差し込まれた場合は、すぐ使用を中止し取り除いてください。火災、感電、および故障の原因となります。
-  本機から煙が立つ、異臭がするなどの問題が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。
* 火災などの原因となります。
-  本機を急激に温度が上昇する場所に長期間放置しないでください。
* 製品の変形および火災、爆発の原因となります。
-  コードを外すときは、必ずプラグ部分を持って外してください。また破損やキズが付いたコードは使わないでください。
* コードが損傷したまま使用すると、感電および火災の原因となります。
-  本機の表面はシンナー、アルコール、ベンゼンなどの揮発性物質または有機溶剤で拭かないでください。またゴムとビニールなどを長期間接触させないでください。
* 表面の変質や塗料がはげることがあり、故障および火災の原因となります。

警告

- ⚠ 本機は、ガラス面に正しく取り付けてください。
 - * ガラス面をきれいに拭いたあと、本機を正しく確実に取り付けてください。正しく取り付けしていない場合、本機がガラス面から外れ運転中に交通事故が発生する可能性があります。
- ⚠ 電源コードまたはソケット部のほこりや汚れはよく拭いて取り除いてください。
 - * 接続不良による感電および火災の原因となります。

注意

- ⚠ 本機に強い衝撃を与えないでください。
 - * 衝撃により製品の破損や故障の原因となります。
- ⚠ 本機の近くに磁気性がある物を置かないでください。
 - * 製品の誤作動および故障の原因となります。
- ⚠ オプションの GPS ユニットの近くには障害になるような物を設置しないでください。
 - * 周りに障害物があるとGPSの受信に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- ⚠ GPS 機能は初期作動時、起動するまでに時間がかかります。（オプションの GPS ユニットが必要）
 - * 受信環境、気象状況、および車両の位置などにより、数秒から数分かかる場合があります。
- ⚠ フロントガラスにメタルコーティングされた車両は GPS 受信障害が発生することがあり、録画品質が落ちることがあります。（オプションの GPS ユニットが必要）
- ⚠ トンネル入出時のように急激に明るさが変わる場合、逆光が強い場合、夜に光源がない場合などの条件では録画品質が落ちることがあります。
- ⚠ 暗い環境では、なるべく高品質で録画するために、車両のヘッドライトやフォグランプをつけてください。
- ⚠ フロントガラスの表面や本機のカメラレンズの表面はいつもきれいにしておいてください。
 - * ほこりや異物による乱反射や屈折現象の発生で、きれいな映像を記録することができません。
- ⚠ 本機は、推奨取付位置に設置してください。
 - * 推奨位置でない場所に設置されると画面がよれることがあります。
 - * 車両に応じて、よい録画ができる位置（推奨取付位置）に装着してください。
- ⚠ LED 方式の信号機では画面がちらつく（フリッカー）ことがあります。
- ⊘ 本機の分解、修理、または改造を絶対にしないでください。
 - * 故障の原因となり保証を受けることができません。

microSDカードについての取り扱い注意事項

⚠ microSD カードの取り扱いには十分注意して、次の注意事項をよくお読みになりご使用ください。注意事項を守らずに発生するデータの損失および破損に関して当社は一切の責任を負いません。

- ⚠ microSD カードを取り出す際は、必ず本体の電源が切れたことを確認してから取り外してください。
 - * 本体の電源が入っている状態でmicroSDカードを取り出すと、データ損失などの原因となります。
- ⚠ microSD カードは消耗品です。一定使用期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。
 - * microSDカードによる不具合が発生した場合は、新しい指定のmicroSDカードと交換してください。
- ⚠ 一般的に microSD カードには、寿命があります。（各メーカーにより異なります）
 - * microSDカードを長期間使用している、保証期間が切れているなどの原因でデータに異常が発生した場合、新しい指定のmicroSDカードと交換してください。
- ⚠ microSD カードを保管、または持ち歩くときは、必ずケースに入れてください。
 - * ケースに入れずに保管または持ち歩く、静電気および外部環境の原因により内部のデータが損失されることがあります。

- ❗ microSD カードを使用するには、microSD カードのロックは必ず解除してください。
* microSDカードがロックされている場合は、記録、録音ができません。
- ❗ 重要なデータは、必ず他のデバイスにバックアップしてください。
* 外部環境、または長期間使用している間に、データが上書きされ消去される場合があります。
- ❗ microSD カードに保存されたデータは、バックアップして、定期的にフォーマット（推奨：週 1 回）して使用してください。
* 外部環境、または長期間使用している間に、データが削除されるおそれがあります。
- ❗ 指定の microSD カード以外は使用しないでください。
* 指定以外の microSD カードを使用すると、データの損失および故障の原因となります。
- 🚫 microSD カードスロットに異物を入れないでください。
* カードスロットの破損、または誤動作、故障の原因となります。
- 🚫 油がついた手や濡れた手で microSD カードスロットを触らないでください。
* microSD カードの損傷、または故障などの原因となります。
- 🚫 データのバックアップ、フォーマットおよび動作中には、絶対に microSD カードを取り出さないでください。
* microSD カードを損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
- 🚫 microSD カードの分解、または改造などは、絶対にしないでください。
* microSD カードの破損するおそれがあります。
- 🚫 microSD カードを落下させたり、衝撃を与えないでください。
* microSD カードの破損、およびデータが損失されるおそれがあります。
- ⚠️ microSD カードには向きがあります。挿入するときは向きを確認して、確実に最後まで差し込んでください。
* microSD カードが正しく挿入されていないと誤動作の原因となります。
- ⚠️ microSD カードを別に購入する場合は、必ず使用可能か確認したうえでご購入ください。
* 本機は32GBまでご使用になれます。
* SDHC規格に準拠したmicroSDカードが使用できます。
* クラス4（Class 4）以上推奨。

使用上の注意

録画についての注意事項

- ・本機は自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- ・本機の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機の動作を確認するため、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- ・本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- ・LED方式の信号機では画面がチラつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、当社は一切の責任を負いません。
- ・走行中に本機を操作したり、LEDランプを注視しないでください。クイック録画／撮影機能をおこなう場合、周囲の安全を確認したうえで操作してください。
- ・録画の条件により、録画のフレームレートが変わる場合があります。

取り付けについての注意事項

- ・本機は、本書（P9参照）にしたがって、正しく取り付けてください。
誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。また交通事故やケガの原因となります。
- ・他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。

ディスプレイについて

- ・同じ映像を長時間や繰り返し表示（短時間でも）した場合、液晶ディスプレイの性質により画面の焼付けが起こる可能性があります。これは保証の対象になりません。ディスプレイの明るさを暗く調整することで、焼付けの発生を軽減できます。
- ・液晶ディスプレイの性質により、輝点や滅点が発生したりスジ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これは保証の対象になりません。
- ・ディスプレイを太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。車両に設置する際にはご注意ください。
- ・偏光サングラス使用時、表示が見えなくなる場合があります。

アイドリングストップ車での使用について

- ・一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分への供給電圧が低下することがあります。これにより本体の電源が落ちる場合があります。

製品の特徴

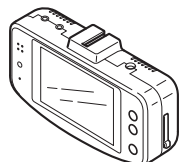
- 地上デジタルテレビでも電波干渉しない。
- 2.4インチIPSディスプレイ搭載
- 映像録画時に音声も録音可能
- 3Gセンサー搭載
- 常時録画モードとイベント録画モードを手動で選択可能
- 事故発生時、電源コードが外れても安心
- DC12V/24V車に対応
- 専用ビューアーソフト付属
- 撮影機能

本体/付属品

付属品

本機を使用する前に、必ず同梱物を確認してください。

* その他注意書きが同梱している場合がございます。



□ドライブレコーダー本体



□マウントベース



□両面テープ



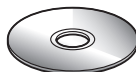
□DCコード



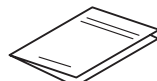
□microSDカード



□コードクリップ×5



□ビューアーソフト
(CD-ROM)

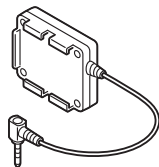


□取扱説明書(本書)

オプション品

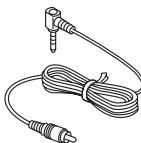
別途お買い求めください。

●GDO-01 GPSユニット



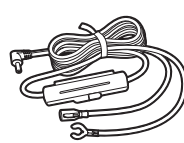
録画した映像にGPS情報や走行速度などの情報を付加することができます。ビューアーソフトで各種情報を表示できます。

●GDO-02 ビデオ出力コード



録画した映像を外部モニターに出力する場合に使用します。(P19参照)

●RO-103 直結配線用DCコード



はじめに

取り付けと
準備

基本操作

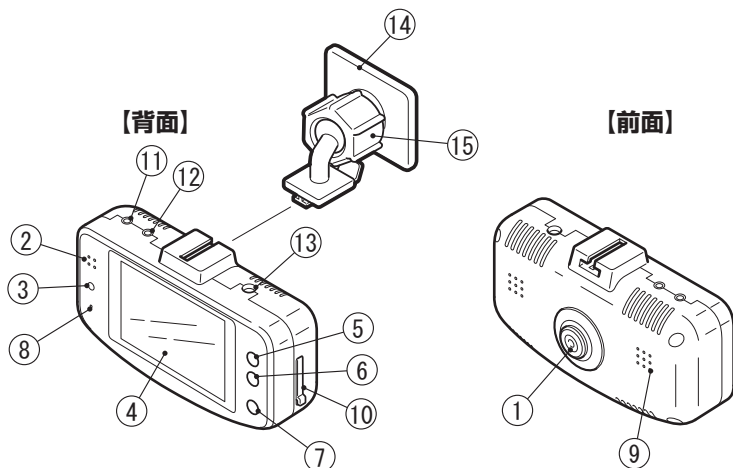
専用ソフト
の説明

困ったときは

その他

アフター
サービス

各部の名称と機能



- ① **撮影用カメラ**
(CMOSカメラ 150万画素 視野角：120°)
* 出荷時に保護フィルムが貼られています。
剥がして使用してください。
- ② **マイク**
映像記録中の音声を録音します。
- ③ **録画状態ランプ**
録画モードのときは点灯、再生または設定モードのときは点滅します。
- ④ **ディスプレイ**
カメラの録画映像、再生、設定メニューの変更画面などを表示します。
- ⑤ **▲ボタン (クイックボタン)**
設定メニューの選択時や、クイック録画 / 撮影時に使用します。
- ⑥ **▼ボタン**
設定メニューの選択時に使用します。
- ⑦ **ENTボタン**
設定メニューへの切り替えや、設定の確定に使用します。
- ⑧ **リセットボタン**
本機を再起動します。
- ⑨ **スピーカー**
各種警告を音声出力します。(モノラル)
- ⑩ **microSDカードスロット**
付属または市販の microSD カードを挿入します。
* microSD カードが挿入されていないと本機は動作しません。
- ⑪ **GPS (GPS接続端子)**
オプションの GPS ユニット (GDO-01) を接続します。
- ⑫ **V-OUT (ビデオ出力端子)**
オプションのビデオ出力コード (GDO-02) を接続します。
- ⑬ **DCソケット**
DC コードを接続し、DC12V/24V を本機に入力します。
- ⑭ **マウントベース**
付属の両面テープでフロントガラスに取り付けます。
* オプションの GPS ユニット(GDO-01)を使用する場合、マウントベースに固定します。
- ⑮ **角度調整ノブ**
本機の取り付け角度を調整します。

取り付け方法

⚠ 注意

本機を車両に取り付ける前に、次の内容を確認のうえ取り付けてください。

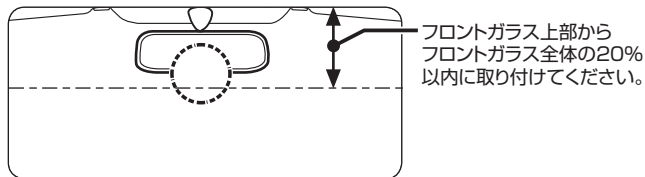
- 本機の誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。正しく取り付けてください。
- 本機を安全に取り付けるために、取り付け作業は明るく安全な場所でおこなってください。
- 本機を取り付ける前には、必ず車のエンジンを止め、キーを抜いた状態で取り付けてください。
- 本機に付属のDCコード以外のコードは使用しないでください。
- カメラを設置した部分のフロントガラスは、いつもきれいに保ってください。
- 本機の精度に影響が出ないようにオプションのGPSユニット付近にはETC、カーナビゲーションなど他の製品と離して取り付けてください。
- 夜間走行時にはカーナビゲーションおよび、車両用モニターがフロントガラスに映り込み、記録画像に影響を与えることがあります。映り込み画像が撮影領域に入らないように角度を調整してください。

⚠ 警告

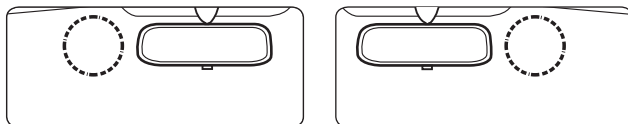
事故発生時の衝撃により本機が外れる場合がございます。フロントガラス面の汚れなどはきれいに拭き取り、本機を確実に取り付けてください。

推奨設置位置（参考）

取り付け位置 正面



ルームミラーの後部、フロントガラスの中央に設置すると、最適の録画映像を得ることができます。



フロントガラスの中央部に設置できない場合は、広い視野角(120°)を活用してルームミラーの左、もしくは右側に設置することもできます。
中央部に設置できない場合、録画映像が片方にかたよる可能性があります。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

専用ソフト
の説明

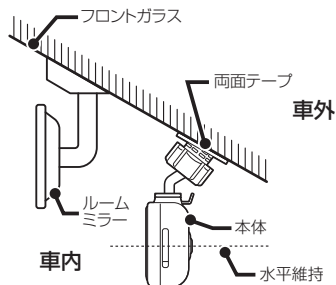
困ったときは

その他

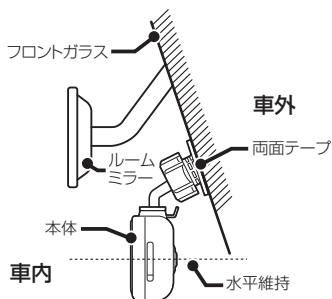
サブタイ
プス

取り付け位置 側面

■ 一般乗用車



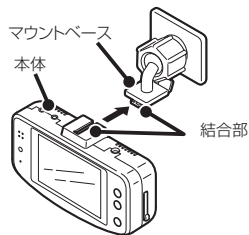
■ バスまたはトラック



- 図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。
- 本機が取り付けられた状態で、図のように本体が水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。
- フロントガラスの角度が急な場合は、図のようにマウントベースを180度回転させ上下を逆にして、水平を維持してください。

本機の取り付け

- 1 マウントベースと本体の結合部を合わせ、矢印の方向に差し込む。



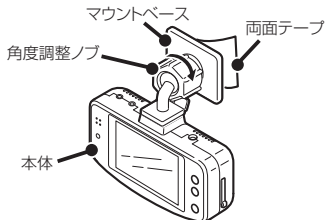
- 2 両面テープを使用して本機を設置する場所に取り付ける。

* 推奨設置位置を参照して、取り付けてください。

- 3 角度調整ノブを右側に回して本体を固定する。

角度調整ノブを緩めると本体の取り付け角度を調整できます。

* 必要に応じて、先にマウントベースを車両側に取り付けてから本体を設置してください。

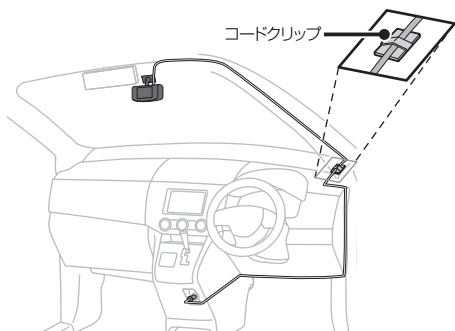


配線処理

DCコードのプラグを車両のシガーライターソケットに接続してください。

コード類は運転の妨げとならないように、付属のコードクリップなどを利用して、配線処理してください。

余分なコード類はビニールテープなどでしっかり束ねてください。コード類を表面に出したくない場合は、ガラスと内張りなどの隙間やパッキン類の隙間に入れます。

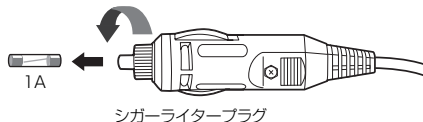


⚠ 注意

- 配線の際、エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業をおこなってください。また、エアバッグの内蔵されている部品などを外さないでください。必要な場合には、必ずカーディーラーの指示を受けてください。コードが可動部分に挟み込まれたり、無理に曲げたりしないように配線処理してください。
- コードを車のダッシュボードなどに固定した場合は、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、コードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。十分ご注意ください。

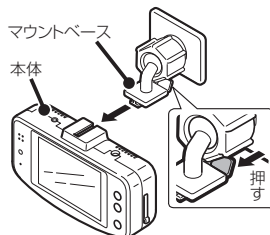
ヒューズが切れた場合

ヒューズ (1A) を交換します。



マウントベースから本体を取り外す

マウントベースのツメ部を押し、取り付け方法とは逆に本体を矢印の方向に引き外します。



はじめに

取り付けと準備

基本操作

専用ソフトの説明

困ったときは

その他

アフターサービス

microSDカードの挿入および取り出し

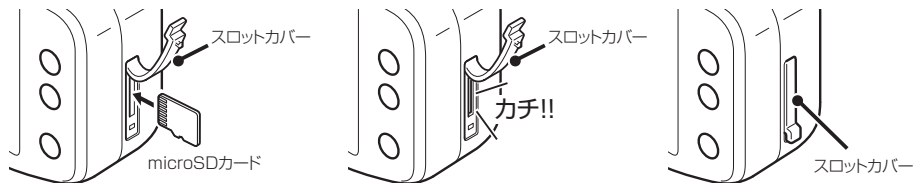
⚠ 注意

microSDカードを使う前に、次の内容を確認してご使用ください。

- microSDカードは、付属のmicroSDカードまたは本機で指定している市販のmicroSDカードをご使用ください。指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの損失や記録できない可能性があります。
- microSDカードを取り出すときは、車のエンジンを止めて、必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してください。（最大20秒程度かかります）その後microSDカードを取り出してください。動作LEDが点灯している状態でmicroSDカードを取り出すと録画を終了することができず、記録映像が中断されるか一部分が削除されるなど、場合によってはmicroSDカードが破損するおそれがあります。

microSDカードの挿入

microSDカードの挿入は製品の電源ON/OFFに関わらず挿入可能です。
挿入と同時に、本機が再起動いたします。

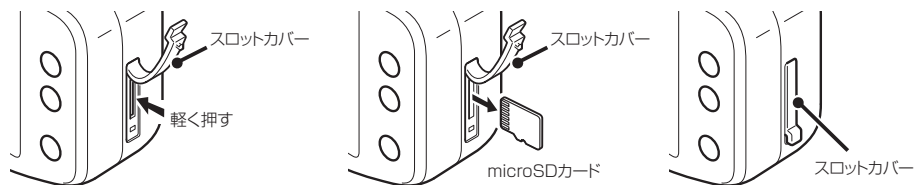


- 1 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードの向きに注意してスロットに差し込む。
- 2 microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認する。
- 3 スロットカバーを閉じる。

⚠ 注意

- microSDカードが挿入されていないと本機は動作しません。
- microSDカードには向きがあります。差し込む向きに注意して最後まで確実に挿入してください。正しく挿入されていないとmicroSDカードの破損、および誤動作の原因になります。
- microSDカードの接続端子には手を触れないでください。汚れや異物が付着するとカード内のデータが損失するおそれがあります。

microSDカードの取り出し



- 1 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードを軽く押し込む。
- 2 microSDカードを取り出す。
- 3 microSDカードを取り出したあと、スロットカバーを閉じる。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

専用ソフト
の説明

困ったときは

その他

アフター
サービス

製品の使用方法



注意

製品を使用する前に次の内容を熟知してください。

- 車の運転中は本機の操作を絶対にしないでください。
- 映像の記録は、microSDカードが正しく挿入されているときのみ可能です。
- 映像の記録中にmicroSDカードが取り出されると警告音となり、記録の映像の一部が削除される場合があります。

電源のON/OFF



■ 電源のON

本機には電源ボタンがありません。電源を入れるには、DCコードが車両に繋がれている状態で車のエンジンをかけます。電源が投入されると、効果音が鳴りディスプレイが起動します。

- * ディスプレイに画面を表示させない場合は、設定メニューの「画面表示」をオフにしてください。(P21、22参照)

■ 電源のOFF

エンジンを停止させると最後の録画ファイルを安全に保存し、効果音のあと電源が自動的にOFFになります。

エラーメッセージ

SDカード認識エラー
SDカードが「挿入されていない」
「フォーマットされていない」
「破損している」
などの異常です。

■ microSDカード認識エラー

microSDカードが「挿入されていない」、「フォーマットされていない」、「破損している」などの異常が発生した場合は、効果音が鳴り本機のディスプレイに次のようなエラーが表示されます。

- * ディスプレイに「SDカード認識エラー」を表示した場合は、microSDカードを挿入し直してください。(P12、13参照)

カメラに異常があります。
カスタマーセンター
までご連絡下さい。

■ カメラ異常エラー

カメラの初期化エラーなどが発生した場合は、効果音が鳴り本機のディスプレイに次のようなエラーが表示されます。

- * ディスプレイに「カメラに異常があります」を表示した場合は、取り付け方法 (P9参照) を確認してから、本機を再起動 (P14参照) してください。

ディスプレイ

本機が起動すると、次の画面を表示します。

操作ボタンを押して、設定メニューの変更または録画映像の再生ができます。

*再生する場合は「再生モード」(P18参照)、設定メニューの変更は「設定の変更方法」(P21、22参照)をご覧ください。



■ 画面アイコンの種類

アイコン	内容
録画モード	録画モードの状態を表示します。
録画画質	録画画質の設定状態を表示します。
3G センサー感度	感度センサーの設定状態を表示します。
音声録音	音声録音のオン/オフを表示します。
GPS	オプションの GPS ユニット (GDO-01) 接続時に GPS を測位すると表示します。

日時設定の方法

正しい記録ができるように、本機に現在の日付および時間を設定してください。

*設定中は、録画できません。



1 本機の**ENTボタン**を押して、メインメニュー画面に切り替える。

2 ▼▲ボタンを押して「日時」を選び、**ENTボタン**を押す。

3 ▼▲ボタンを押して、現在の日付および時間を入力する。

移動は、**ENTボタン**を押してください。(1秒以内)

確定は、**ENTボタン**を長押しします。(3秒以上)

ENTボタン短押：年月日時分秒の移動とカーソルデータのアップダウンとを交互に切り替えます

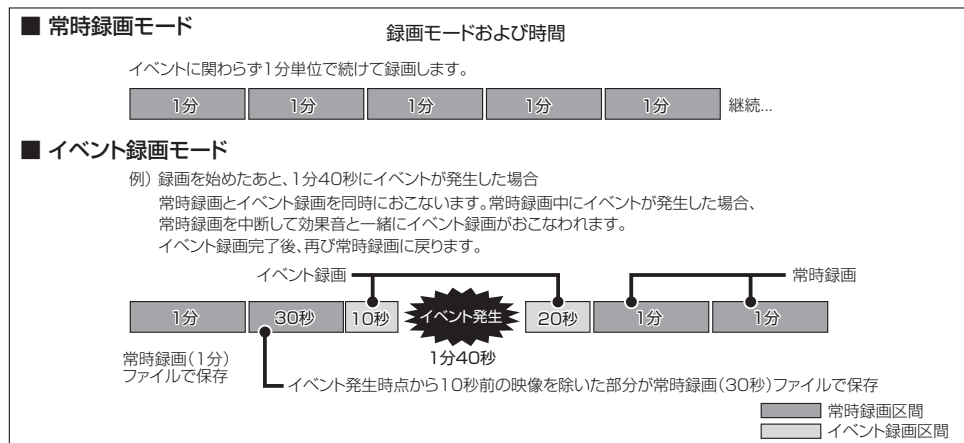
ENTボタン長押：確定

録画モード

本機が動作すると同時に録画が開始されます。

- 録画モードの状態は、画面のアイコンで確認できます。

常時録画モードとイベント録画モード



* イベントとは、衝撃を検知した場合という意味で使用しています。センサーが高感度に設定されている場合、細かな衝撃も検知します。センサー感度が低感度に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。センサーの感度調整は「専用ビューアーの環境設定(P27参照)」または「設定の変更方法“3Gセンサー感度”(P21、22参照)」で調整することができます。

* 記録映像がmicroSDカードの容量を超えた場合、古い記録映像データから順次自動消去されます。

* 常時録画とイベント録画で生成されたファイルは指定のフォルダに保存されます。

* 常時録画とイベント録画の各領域は、全体容量の3：1の割合で分割管理されています。

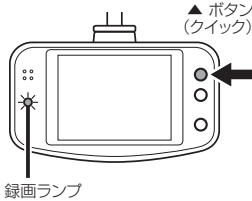
* 録画モードでイベント録画（手動による撮影も含む）をおこなっている最中は、ボタン操作を受け付けません。ボタン操作をおこなう場合は、常時録画中におこなってください。

例) 2GBのmicroSDカードを使用した場合

録画ファイル	保存フォルダ名	最大保存容量
常時録画ファイル	INFINITE	約 1.5GB (規格容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます)
イベント録画ファイル	EVENT	約 0.5GB (規格容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます)

クイック録画機能（手動）

イベントを手動で録画するための機能です。記録映像はmicroSDカードの[EVENT]フォルダに保存されます。



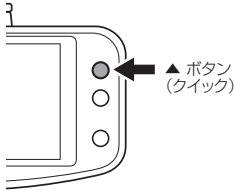
1 本機の動作中に▲クイックボタンを押す。(1秒以内)

効果音が鳴り、手動にてイベント録画することができます。録画モードの状態は、画面のアイコンもしくはLEDランプ（赤色点灯）で確認できます。

- * 録画映像は、ボタンを押した10秒前と20秒後を含み記録します。
- * この機能は、本機がイベント録画中である場合は使用できません。

撮影機能（手動）

録画映像を手動で撮影するための機能です。撮影した画像（JPGファイル）はmicroSDカードの[CAPTURE]フォルダに保存されます。（撮影した画像の保存容量は100MBまでになります。）



1 本機の動作中に▲クイックボタンを長押しする。(3秒以上)

効果音が鳴り、手動にて映像を撮影することができます。

- * この機能は、本機がイベント録画中でも使用できます。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

専用ソフト
の説明

困ったときは

その他

アフター
サービス

再生モード

録画した記録映像を本機のディスプレイで再生することができます。

* 設定中は、録画できません。

1 本機の**ENTボタン**を押して、メインメニュー画面に切り替える。



2 ▼▲ボタンを押して「再生モードへ移動」を選び、**ENTボタン**を押す。

「再生モード」画面に切り替わります。



3 ▼▲ボタンを押して、「常時」または「イベント」を選び、**ENTボタン**を押す。

「再生ファイル」画面に切り替わります。

ENTボタン短押: 確定

ENTボタン長押: キャンセル



4 ▼▲ボタンを押してファイルを選択し、**ENTボタン**を押す。
本機のディスプレイで再生が開始されます。

ENTボタン短押: 確定

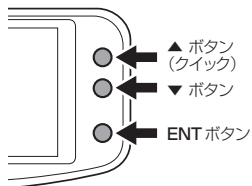
ENTボタン長押: 戻る

* ファイルは、記録された時間の順に表示されます。

* 再生ファイルは、常時録画で1分、イベント録画で30秒です。

* 再生中に**ENTボタン**短押でファイル選択画面に戻ります。

再生中のボタン操作



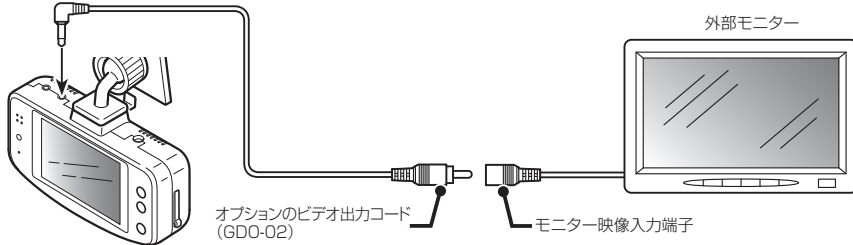
ボタン	再生中のボタン操作
▲ (クイック)	10秒前の映像に戻る
▼	10秒後の映像に進む
ENT	再生停止 (リスト画面に戻る)

外部モニター表示

オプションのビデオ出力コード (GDO-02) を外部モニターに接続するとディスプレイの映像を外部モニターに表示することができます。(映像のみ、音声は出力されません)

1 本機を下図のように外部モニターと接続する。

■ 外部モニターとの接続



2 本機の**ENTボタン**を押して、メインメニュー画面に切り替える。

3 ▼▲ボタンを押して「V-OUT」を選び、**ENTボタン**を押す。



4 ▼▲ボタンを押して「オン」を選び、**ENTボタン**を押す。

ENTボタン短押: 確定
ENTボタン長押: キャンセル
 設定後メインメニューに戻ります。



5 ▼▲ボタンを押して「再生モードへ移動」または「録画モードへ移動」を選び、**ENTボタン**を押す。

- 再生モードにする場合は、「再生モードへ移動」を選択
- 録画モードにする場合は、「録画モードへ移動」を選択

* ディスプレイに戻す場合は、**ENTボタン**を押してください。オプションのビデオ出力コード (GDO-02) を外しても自動で切り替わりません。

* 外部モニターに映像を出力しているときは、本機のディスプレイはオフになります。

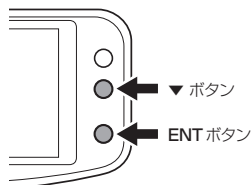
* 必ずオプションのビデオ出力コード (GDO-02) をご使用ください。他のコードを使用すると映像が正しく表示されない、または誤動作を起こす場合があります。

* モニターの種類によっては端子の形状が異なる場合があります。

フォーマット

⚠ 注意

この機能を使用すると、録画したデータはすべて消去されます。必要に応じて記録データのバックアップをおこなってください。



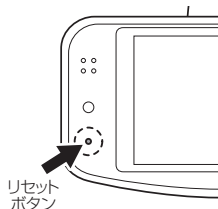
- 1 本機の**ENTボタン**と**▼ボタン**を同時に押した状態で、本機の電源を入れる。
フォーマットが実行されます。

- ディスプレイには「フォーマット実行中」と表示されフォーマット完了後自動的に録画モードが開始されます。

フォーマット実行中

システムリセット

本機が誤動作したり、止まってしまった場合、システムリセットをおこなってください。



- 1 ピンなどを使用してリセットボタンを押す。
本機がリセットされます。

GPS受信の確認

本機にオプションのGPSユニット（GDO-01）を接続すると、GPS信号を受信することができます。



- GPS信号の受信状態は、画面のアイコンで確認することができます。

各種の設定

設定の変更方法（例：操作音）

本機の各種設定を変更するには、以下の手順でメインメニュー画面に移動し、設定をおこなってください。

1 本機の**ENTボタン**を押して、ディスプレイをメインメニュー画面に切り替える。



2 ▼▲ボタンを押して、設定メニューを選び、**ENTボタン**を押す。



3 ▼▲ボタンを押し、設定内容を変更して**ENTボタン**を押す。
設定内容が切り替わります。

ENTボタン短押：確定
ENTボタン長押：キャンセル

* 設定中は、録画はできません。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

専用ソフト
の説明

困ったときは

その他

アフター
サービス

設定一覧

メインメニュー (選択: ▼▲ / 確定: ENT)	設定値	設定内容 (選択: ▼▲ / 確定: ENT)
操作音	2	3 : 操作音 (大) にします。 2 : 操作音 (中) にします。 1 : 操作音 (小) にします。 0 : 操作音 (無) にします。
音声録音	オン	オン : 音声録音をおこないます。 オフ : 音声録音をおこないません。
録画画質	高	高 : 録画画質を高画質に設定します。 標準 : 録画画質を標準画質に設定します。 低 : 録画画質を低画質に設定します。
3G センサー感度	標準	高 : 3G センサーを高感度に設定します。 標準 : 3G センサーを標準感度に設定します。 低 : 3G センサーを低感度に設定します。
画面明るさ	3	4 : モニターの輝度を最大にします。 3 2 1 : モニターの輝度を最小にします。
ディマー	オン	オン : ディマー機能を設定します。 オフ : ディマー機能を設定しません。
画面表示	オン	オン : モニターにカメラの映像を表示します。 オフ : モニターにカメラの映像を表示しません。
アイコン表示	オン	オン : 画面にアイコンを表示します。 オフ : 画面にアイコンを表示しません。
日時	年、月、日 時、分、秒	日時の設定方法は、「日時設定の方法」(P15) を参照してください。
再生モードへ移動	—	再生操作方法は、「再生モード」(P18) を参照してください。
録画モードへ移動	—	録画モードについては、「録画モード」(P16) を参照してください。
V-OUT (ビデオ出力)	オフ	オン : 外部モニターに映像を出力します。 オフ : 外部モニターに映像を出力しません。 * 接続方法は、「外部モニター表示」(P19) を参照してください。

*ディマーを「オン」にすると、4月～10月は18:00～5:00、11月～3月は17:00～6:00が夜間モードになります。

*設定メニュー画面にて1分以上操作がない場合は、自動的に録画モードに切り替わります。

*画面表示を「オフ」、V-OUTを「オン」に設定した場合、表示をV-OUTモードからディスプレイに戻すと自動的に画面表示は「オン」になります。

専用ビューアー

運行時の録画映像やルート、GPS情報、衝撃グラフなどの記録データを確認することができる専用ビューアーソフトです。

■動作環境 (PC推奨スペック)

- ・ CPU: Pentium4 2.0 GHz以上
- ・ RAM容量: 1GB RAM以上
- ・ OS: WIN98/ME/2000/XP/VISTA/WIN7
- ・ HDD: 1GB以上の空き容量
- ・ GPU: Geforce4以降

専用ビューアーソフトのインストール方法

データを確認する場合は、ソフトをインストールしてください。



次へボタン



次へボタン



インストールボタン



完了ボタン

1 付属のビューアーソフト収録のCD-ROMをパソコンにセットし、CD-ROMを開き、「**setup.exe**」をダブルクリックする。

2 **次へボタン**をクリックする。

3 セットアップタイプの「**完全**」を選択し、**次へボタン**をクリックする。

4 **インストールボタン**をクリックする。

5 インストールが完了したら**完了ボタン**をクリックする。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

専用ソフトの説明

困ったときは


その他

アフターサービス

専用ビューアーの使い方



専用ビューアーは、microSD カードが挿入されていないと動作しません。

専用ビューアーアイコン  をダブルクリックすると、次の画面を表示します。

専用ビューアー画面の見方



*この画像は実際のソフトウェアの動きと異なります。

番号	名称	機能
①	再生画面	録画した映像を表示します。
②	3G センサー / 再生位置	3G センサーのグラフ / 再生位置を表示します。
③	GPS速度計	GPSで計測した走行速度を表示します。 *オプションのGPSユニット (GDO-01) が必要です。 *GPS速度計の動作はイメージです。
④	再生速度調整	再生の速度を調整します。
⑤	操作ボタン	録画した映像の再生操作をします。 [Back]: 1つ前のファイルに戻る [Play]: 再生 [Stop]: 停止 [Next]: 次のファイルに進む
⑥	音量の表示	音声の再生音量を調整します。
⑦	方位 / スピード	車の走行方向および走行速度を表示します。 *オプションのGPSユニット (GDO-01) が必要です。
⑧	ファイル管理	ファイルのオープン、コピー、クリアができます。
⑨	ファイル整列ボタン	再生可能なファイルのリストを表示します。
⑩	ファイルリスト	再生可能なファイルを表示します。
⑪	キャプチャー	現在表示中の映像をキャプチャーして、静止画ファイル (JPG) として保存します。
⑫	環境設定	microSD カードが挿入されていないと開きません。 日付や映像品質、3G センサーの感度、録画方式などの設定ができる「環境設定」画面を表示します。(P27 参照)
⑬	最小化、最大化、終了	専用ビューアー画面を最小化、最大化、または終了します。
⑭	地図表示	録画した映像の走行経路を表示します。 *オプションのGPSユニット (GDO-01) とインターネットの接続が必要です。

ファイルリスト



機能	説明
ファイルリスト	microSD カード内のファイルリストを表示します。
チェックボタン	ファイルの選択および解除をします。

* ファイルリストは古いファイルから順に整列します。

* ファイルのコピーまたはクリアするにはファイル名のチェックボタンを選択しておこないます。

ファイル管理ボタン

ボタン	機能	説明
開く	ファイルを開く	保存されているファイルを再生リストに追加します。
保存	ファイルを保存する	リストから選択した microSD カードのファイルをPCに保存します。
クリア	ファイルをクリアする	ファイルリストから選択したファイルをクリアします。

■ファイルを開く

- 1 開くボタンをクリックする。
ファイルの選択画面が開きます。
- 2 microSDカード上に保存されている録画ファイルを選択する。
* ファイルの選択は個別選択または全選択（Ctrl+A）ができます。

■ファイルの保存

- 1 コピーをおこなう録画ファイルのチェックボタンをクリックする。
- 2 選択が完了したら保存ボタンをクリックする。
* コピーしたファイルは指定のフォルダに保存されます。

■ファイルのクリア

- 1 ファイルリストからクリアする録画ファイルの**チェックボタン**をクリックする。
- 2 選択が完了したら**クリアボタン**をクリックする。
* ファイルのクリアができるのは、microSDカード内のファイルだけです。

ファイル整列ボタン

ファイル別に表示を切り替えることができます。

ボタン	機能	説明
全て	全体ファイル	すべてのファイルを表示します。
常時	常時録画ファイル	常時録画ファイルのみ表示します。
イベント	イベント録画ファイル	イベント録画ファイルのみ表示します。

専用ビューアーの環境設定

環境設定アイコン  **環境設定** をダブルクリックすると、次の画面を表示します。

■環境設定



番号	機能	説明
①	時刻設定	現在の日付、時刻を設定します。 *適用ボタン：内部時間を設定した時間に変更します。(_time_ini.cfg)
②	タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。
③	映像画質	録画品質を設定します。（工場出荷時は高い） 低い： 低画質 標準： 標準 高い： 高画質
④	録画方式	録画方式を設定します。 （工場出荷時はイベント録画モード（常時録画＋イベント録画））
⑤	速度計単位	GPS 情報の速度計表示単位を選択します。
⑥	3G センサー感度	3G センサーの感度を設定します。 *数値を高くすると、感度が上がります。
⑦	車ナンバー入力	車ナンバー（車両情報）を入力します。ファイルを再生するとき、車ナンバーが表示されます。
⑧	OK	設定を保存します。
⑨	キャンセル	キャンセルします。（設定は保存されません）

■メモリー情報



番号	機能	説明
①	メモリー情報	microSD カードのメモリー情報を表示します。
②	初期化実行	microSD カードのフォーマット（初期化）をおこないます。 *大切なデータを事前にバックアップしてください。

■バージョン情報



番号	機能	説明
①	ファームウェア・バージョン	ファームウェアのバージョン情報を表示します。
②	PC 再生ソフト・バージョン	専用ビューアーのバージョン情報を表示します。
③	パスワード	「パスワードを有効にする」を選択して、パスワードを入力します。 パスワード変更ボタン を押して、入力したパスワードを登録します。

microSDカードのデータについて

■データ保存について

- イベント録画フォルダ (EVENT)
イベント発生時に30秒間の動画および音声、クイック録画機能で録画した動画を保存します。
(microSDカード全体容量の25%を使用)
- 常時録画フォルダ (INFINITE)
常時録画された1分間の動画および音声を保存します。(microSDカード全体容量の70%を使用)
- 撮影フォルダ (CAPTURE)
キャプチャーした画像を保存します。(100MB固定)

■その他のファイルについて

- _system_ini.cfg
PC Viewerの環境設定を_system_ini.cfgファイル形式でmicroSDカードに保存し、本機は初期起動時にこの設定情報を読み込み適用します。
_system_ini.cfgファイルがない場合は、基本設定を適用します。
- _time_ini.cfg
任意時間 (RTC) を保存します。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

専用ソフト
の説明

困ったときは

その他

アフター
サービス

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

症状	考えられる原因	参照
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">• DCコードは、シガーライターソケットに接続されていますか。• 本機のDCジャックとDCコードは接続されていますか。• シガーライター用DCコードのヒューズが切れていませんか。	P8,P11
	<ul style="list-style-type: none">• シガーライターソケットにタバコくずが付着していませんか。付着している場合は、タバコくずなどをきれいに拭きとってください。	—
録画が開始されない	<ul style="list-style-type: none">• microSDカードは正しく挿入されていますか。 * microSD カードが挿入されていないと本機は動作しません。	P12
	<ul style="list-style-type: none">• microSDカードは正しく挿入されていますか。 * microSD カードに異常がある場合もエラーとなり録画が開始されません。その場合は、microSD カードを取り換えてご使用ください。その際は指定の microSD カードをご使用ください。	P5 P12-P13
急ブレーキや急加速のときでも、データが保護されない。または直ぐに反応してしまう	<ul style="list-style-type: none">• 専用ビューアーの環境設定の「3Gセンサー感度」を調整してください。 *使用状況に合わせて、この設定を調整することをお勧めします。	P27
ひんばんに録画されるまたは録画されない	<ul style="list-style-type: none">• 専用ビューアーの環境設定の「3Gセンサー感度」を調整してください。 *使用状況に合わせて、この設定を調整することをお勧めします。	P27
画面を表示しない	<ul style="list-style-type: none">• 外部モニター表示になっていませんか。設定メニューで「V-OUT (ビデオ出力)」をオフにしてください。	P18

製品の仕様

■CSD-260の仕様

車外撮影用カメラ	撮像素子	150万画素 CMOSカメラ
	フレームレート	22fps
	視野角	120°
	最低被写体照度	1.33LUX
録画画質	高画質 (2.25Mbps) / 標準 (1.85Mbps) / 低画質 (1.45Mbps)	
録画圧縮	MPEG-4	
録画トリガ	常時録画 / イベント録画 / クイック録画	
3G センサー	衝撃感度	10段階
対応外部記憶媒体	microSD カード 2GB ~ 32GB (クラス4/SDHC 規格準拠)	
記録データ	日時、加速度、走行速度*、位置情報*、映像ファイル *オプションのGPSユニット (GDO-01) が必要	
音声録音	有り	
外部映像出力	有り	
インターネット地図連動	有り	
電源電圧	DC12V/24V	
動作温度範囲	-10℃ ~ +60℃	
サイズ	93 (W) × 25 (D) × 53 (H) mm ※突起部含まず	
本体重量	75g	

■撮影可能時間の目安

常時録画 / microSD カードの容量	録画品質		
	高画質	標準	低画質
2GB	約 80分	約 100分	約 120分
4GB	約 160分	約 200分	約 250分
8GB	約 330分	約 400分	約 510分
16GB	約 660分	約 800分	約 1020分
32GB	約 1320分	約 1600分	約 2050分

イベント録画 / microSD カードの容量	録画品質		
	高画質	標準	低画質
2GB	約 20分	約 30分	約 40分
4GB	約 50分	約 70分	約 90分
8GB	約 110分	約 140分	約 180分
16GB	約 230分	約 280分	約 360分
32GB	約 470分	約 570分	約 730分

撮影の状況、被写体などにより記録されるファイルサイズは一定でないため、記録可能時間に差が生じる場合があります。上記は、あくまでも目安となります。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

専用ソフト
の説明

困ったときは

その他

サブタイ
プス

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

専用ソフト
の説明

困ったときは

その他

アフター
サービス

はじめに

取り付けと
準備

基本
操作

専用ソフト
の説明

困ったときは

その他

アフター
サービス

アフターサービスについて

修理に関して

■ 修理に必要なもの

- ・取扱説明書（保証書欄、修理受付票記入）
- ・修理する製品

■ 保証書と修理受付票のご記入に関して

保証期間中

本書裏表紙の保証書と修理受付票（P35参照）に必要な事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。保証書の規定にしたがって無料で修理および調整させていただきます。

- * ご注意：保証期間中であっても有償修理となる場合がございますので保証規定をよくお読みください。保証書の所定事項（製品名、お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合は、有償修理となります。保証期間中であっても、部品入手不可能により修理ができなくなる場合があります。

保証期間が過ぎているとき

修理受付票（P35参照）に必要な事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。

■ 修理受付票に関して

修理受付票は、以下の方法でも入手できます。

郵送をご希望のおお客様

カスタマーサービスまでお問い合わせください。
フリーダイヤル：0120-75-6867
（携帯電話・PHSからは、046-275-6867）

FAXでご希望のおお客様

FAXサービスまでお問い合わせください。
FAX：046-275-1171（音声ガイダンス）データ番号051で24時間FAXにてお取り出しできます。

ダウンロードをご希望のおお客様

インターネットブラウザより以下のアドレスにアクセスしてください。

（修理受付票PDFダウンロード：48KB）
http://www.cellstar.co.jp/products/customer/repair_card.pdf

■ 修理をご依頼される前に

- 1 故障かな？と思ったら（P30参照）を参考に故障かどうかをご確認ください。
- 2 弊社ホームページ「お客様サポート」－「よくあるご質問（FAQ）」をご確認ください。

3 弊社ホームページに修理金額の目安が記載されています。事前にご確認ください。

http://www.cellstar.co.jp/customer/repair_price.pdf

- * ご依頼内容の確認のため、記入後必ずコピーを取りお客様控えとしてお手元に保管してください。
- * セルスター工業アフターサービスへ修理品をご送付いただく際、迅速かつ適切な修理をおこなうため、本書裏表紙の保証書と修理受付票（P35参照）に必要な事項をご記入の上、製品に添付してください。
- * 修理品などをお送りいただく際の送料に関しては、お客様負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 名称、所在地、電話番号は変更される場合があります。ご確認ください。

■ 修理の流れ

1 ご不明な点は、弊社カスタマーサービスにご連絡ください。



0120-75-6867（無料）

【受付時間】 9：00～17：30

フリーダイヤル

（土・日・祝日および、弊社休業日を除く）

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用になれない場合：046-275-6867

- * 修理する製品、保証書をお手元にご用意の上でおかけになるとスムーズにご相談いただけます。

2 修理品の送付先

セルスター工業 アフターサービス
〒518-1145
三重県伊賀市安場字東赤坂 1608-5
TEL. 0120-75-6867

お客様へのお願い

- * 修理・点検作業の際、本機は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。
- * 保証期間の有無に関わらず、送料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 運送中の衝撃などに耐えられるよう、梱包をお願いします。
- * 運送中の破損紛失などについては、弊社では一切の責任を負いません。
- * 有償修理作業完了後、代金引換便にてご返送させていただきます。（処分依頼はお受けいたしませんので、ご返却させていただきます）

個人情報の利用目的について

本機に対するお問い合わせや修理をご依頼される場合の個人情報は次の目的のみ利用されます。

- ① 当社製品・サービスに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため。
- ② 製品の企画、開発、販売促進、営業活動にお客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため。

修理受付票

製品名：CSD-260

ご購入される前に必ず取扱説明書（本書）をお読みいただき、修理受付票と、裏表紙の保証書にご記入の上、修理依頼品と一緒に添付してお送りください。

お客様ご記入欄

お客様名： 住所：□□□□-□□□□□□	
ご自宅電話番号： FAX番号：	
日中ご連絡可能な電話番号： <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> ご勤務先 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
ご購入日： 同梱した付属品：合計（ ）点	お見積り連絡： <input type="checkbox"/> 不要 / <input type="checkbox"/> 必要（ ）円以上の修理の場合に連絡 ※不要を選択の場合、お見積りの連絡はいたしません。なお、お見積り金額に関わらず、修理させていただきます。
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧	具体的な症状： <input type="checkbox"/> 常に発生する <input type="checkbox"/> 時々発生する <input type="checkbox"/> 特定の条件で発生する できるだけ詳しくご記入ください。
修理品返却先 ※上記住所以外への返却の場合にご記入ください。	
お客様名： ご自宅電話番号：	
ご住所：	

アフター
サービス

その他

困ったときは

説明
のソフト
専用

基本操作

取り付けと
準備

はじめに

保証書

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容を良くお読みのもと、大切に保管してください。

本証は、弊社の厳密な検査のもと生産、出荷されたものであることを証明し、本証の保証期間内に正常な使用状態において故障した場合には、本証記載内容のとおり無料で修理および調整をおこなうことをお約束するものです。修理をご依頼する際には修理受付票（P35参照）も併せてご記入ください。

製品名：CSD-260	お買い上げ年月日： 年 月 日
販売店様 ※必ず、ご記入ください。 ご住所： お電話：	保証期間 1年 お買い上げ 年月日から 1年間有効 

以下の場合には保証の対象外となります。

- ①本製品に付属の取扱説明書に記載された使用方法や注意事項に反した取扱いによって生じた故障・破損
- ②誤用・乱用および取扱不注意による故障
- ③火災・地震・風水害・落雷・その他天災地変や公害・塩害・水掛かり・異常電圧による故障
- ④不当な修理に起因する故障や、分解・改造の痕跡がみられる故障
- ⑤使用中に生じた傷など外観上の変化
- ⑥保存状態が適切でなかった場合
- ⑦業務目的でご使用になった場合
- ⑧バッテリー・ディスプレイ装置など消耗品および付属品の交換
- ⑨本証の提示がない場合
- ⑩本証の所定事項（お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合

- ・取付不良、接続不良、不適切な使用状態による車の故障や事故などの附随的損害の補償については一切この責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- ・本証は日本国内においてのみ有効です。また本証の再発行はいたしませんので大切に保存ください。

修理・点検をご依頼される際の注意事項

設定の記憶やお客様が情報を登録できる製品につきまして、修理・点検作業の際、本製品は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。

販売店様へのお願い 保証書欄にお買い上げ年月日、店名、ご住所、お電話番号をご記入の上、お客様へお渡しください。

お客様相談窓口

■電話でのお問い合わせ



フリーダイヤル

0120-75-6867（無料）

【受付時間】 9:00～17:30

（土・日・祝日および、弊社休業日を除く）

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用にならない場合：046-275-6867

■メールでのお問い合わせ

お問い合わせフォームより質問を送信してください。

<https://www.cellstar.co.jp/inquiry/mail.html>

※ご返答までに1週間程度のお時間をいただく場合があります。

■セルスター工業株式会社 カスタマーサービス

〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32

各拠点一覧

- 北海道地区 北海道セルスター工業株式会社
〒004-0843 札幌市清田区清田三条 1-3-1
TEL.011-882-1225 (代) / FAX.011-881-7251
- 東北地区 セルスター工業（株）仙台営業所
〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字原田 158
TEL.022-218-1100 (代) / FAX.022-218-1110
- 関東地区 セルスター工業（株）本社
〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野 7-17-32
TEL.046-273-1100 (代) / FAX.046-273-1106
- セルスター工業（株）水戸営業所
〒310-0903 茨城県水戸市堀町795-2
TEL.029-254-6911 (代) / FAX.029-255-1420

- 東海・北陸地区 セルスター工業（株）名古屋営業所
〒464-0025 愛知県名古屋市中千種区桜が丘295番地
第8オオタビル 4F
TEL.052-789-0099 (代) / FAX.052-789-1510
- 関西・中国・四国地区 セルスター工業（株）大阪営業所
〒562-0004 大阪府箕面市牧落 3-8-7
TEL.072-722-1880 (代) / FAX.072-722-5575
- 九州地区 セルスター工業（株）福岡営業所
〒811-1314 福岡県福岡市南区的場二丁目15番 16号
TEL.092-588-1101 (代) / FAX.092-588-0057
- 名称、所在地、電話番号は変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

全国自動車用品工業会会員 <http://www.cellstar.co.jp>

CELLSTAR® **セルスター工業株式会社**

ドライブ レコーダー

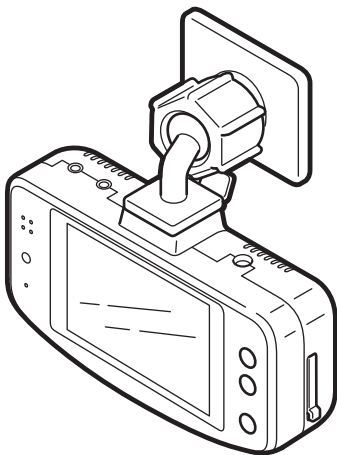
DRIVE RECORDER

CSD-260[®]

取扱説明書

この度は、当社製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。
なお、お読みになったあとは、大切に保管してください。

本機は、日常の運転をドライブレコーダーで記録し分析することで、安全運転についての改善や、効果的な運転管理を推進し、交通事故の防止および安全運転を促進する目的で製造販売しております。



もくじ

はじめに

はじめに

安全上の注意…………… 3

microSDカードについての取り扱い注意事項 ……4

使用上の注意…………… 6

録画についての注意事項 ……6

取り付けについての注意事項 ……6

ディスプレイについて ……6

アイドリングストップ車での使用について ……6

製品の特徴…………… 7

本体/付属品…………… 7

付属品……………7

オプション品……………7

各部の名称と機能…………… 8

取り付けと準備

取り付け方法…………… 9

推奨設置位置 (参考)……………9

取り付け位置 正面……………9

取り付け位置 側面……………10

本機の取り付け……………10

配線処理……………11

ヒューズが切れた場合……………11

マウントベースから本体を取り外す……………11

microSDカードの挿入および取り出し ……12

microSDカードの挿入……………12

microSDカードの取り出し……………13

基本操作

製品の使用方法…………… 14

電源のON/OFF……………14

エラーメッセージ……………14

ディスプレイ……………15

日時設定の方法……………15

録画モード……………16

クイック録画機能 (手動)……………17

撮影機能 (手動)……………17

再生モード……………18

外部モニター表示……………19

フォーマット……………20

システムリセット……………20

GPS受信の確認……………20

各種の設定…………… 21

設定の変更方法 (例: 操作音)……………21

設定一覧……………22

専用ソフトの説明

専用ビューアー…………… 23

専用ビューアーソフトのインストール方法 ……23

専用ビューアーの使い方……………25

ビューアーソフトの起動……………25

ファイルの読み込み……………25

ビューアーソフト画面の見方……………26

ファイルの再生……………27

走行経路の確認……………28

再生映像のキャプチャー……………29

ファイルの保存と削除…………… 30

ファイル保存……………30

ファイル削除……………31

各種設定の変更…………… 32

設定の変更方法……………32

設定調整画面の見方……………33

日時の設定……………34

フォーマット……………35

バージョン情報の確認……………35

microSDカードのデータについて ……36

その他

故障かな?と思ったら…………… 37

製品の仕様…………… 38

アフターサービス

アフターサービスについて…………… 40

修理に関して……………40

修理受付表……………41

保証書……………裏表紙

各地域のお客様相談窓口一覧……………裏表紙

取り付けと準備

基本操作

専用ソフトの説明

困ったときは




その他

アフターサービス




安全上の注意






お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明していきます。








- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 危険	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。
 警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害*の発生の可能性が想定される」内容です。 * 物的損害とは、車両・家屋・家財などに関わる拡大損害を示します。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

-  この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。
-  この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。
-  この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。

 危険
 本機は必ず定められた電圧（DC12V/24V）でご使用ください。 * 火災や感電、故障の原因となります。
 運転中に本機を操作しないでください。 * 交通事故の原因となります。操作する場合は、必ず車を安全な場所に停止させ操作してください。
 本機をエアバッグが作動する近くに設置しないでください。 * 事故発生時にエアバッグが正常に作動しないおそれがあります。または作動したエアバッグにより負傷の原因となります。
 医療用電気機器の近くでは使用しないでください。 * ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与えるおそれがあります。

 警告
 本機の取り付けは、必ずエンジンを切った状態でおこなってください。 * 車両のキーがONの状態では取り付けたら、感電および故障の原因となります。
 本機の結合部分、スピーカーなどの穴やすき間にはピンや針などの金属を入れないでください。 * 誤って差し込まれた場合は、すぐ使用を中止し取り除いてください。火災、感電、および故障の原因となります。
 本機から煙が立つ、異臭がするなどの問題が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。 * 火災などの原因となります。
 本機を急激に温度が上昇する場所に長期間放置しないでください。 * 製品の変形および火災、爆発の原因となります。
 コードを外すときは、必ずプラグ部分を持って外してください。また破損やキズが付いたコードは使わないでください。 * コードが損傷したまま使用すると、感電および火災の原因となります。
 本機の表面はシンナー、アルコール、ベンゼンなどの揮発性物質または有機溶剤で拭かないでください。またゴムとビニールなどを長期間接触させないでください。 * 表面の変質や塗料がはげることがあり、故障および火災の原因となります。

警告

- ⚠ 本機は、ガラス面に正しく取り付けてください。
 - * ガラス面をきれいに拭いたあと、本機を正しく確実に取り付けてください。正しく取り付けしていない場合、本機がガラス面から外れ運転中に交通事故が発生する可能性があります。
- ⚠ 電源コードまたはソケット部のほこりや汚れはよく拭いて取り除いてください。
 - * 接続不良による感電および火災の原因となります。

注意

- ⚠ 本機に強い衝撃を与えないでください。
 - * 衝撃により製品の破損や故障の原因となります。
- ⚠ 本機の近くに磁気性がある物を置かないでください。
 - * 製品の誤作動および故障の原因となります。
- ⚠ オプションの GPS ユニットの近くには障害になるような物を設置しないでください。
 - * 周りに障害物があるとGPSの受信に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- ⚠ GPS 機能は初期作動時、起動するまでに時間がかかります。（オプションの GPS ユニットが必要）
 - * 受信環境、気象状況、および車両の位置などにより、数秒から数分かかる場合があります。
- ⚠ フロントガラスにメタルコーティングされた車両は GPS 受信障害が発生することがあり、録画品質が落ちることがあります。（オプションの GPS ユニットが必要）
- ⚠ トネル入出時のように急激に明るさが変わる場合、逆光が強い場合、夜に光源がない場合などの条件では録画品質が落ちることがあります。
- ⚠ 暗い環境では、なるべく高品質で録画するために、車両のヘッドライトやフォグランプをつけてください。
- ⚠ フロントガラスの表面や本機のカメラレンズの表面はいつもきれいにしておいてください。
 - * ほこりや異物による乱反射や屈折現象の発生で、きれいな映像を記録することができない可能性があります。
- ⚠ 本機は、推奨取付位置に設置してください。
 - * 推奨位置でない場所に設置されると画面がよれることがあります。
 - * 車両に応じて、よい録画ができる位置（推奨取付位置）に装着してください。
- ⚠ LED 方式の信号機では画面がちらつく（フリッカー）ことがあります。
- ⊘ 本機の分解、修理、または改造を絶対にしないでください。
 - * 故障の原因となり保証を受けることができません。

microSDカードについての取り扱い注意事項

⚠ microSD カードの取り扱いには十分注意して、次の注意事項をよくお読みになりご使用ください。注意事項を守らずに発生するデータの損失および破損に関して当社は一切の責任を負いません。

- ⚠ microSD カードを取り出す際は、必ず本体の電源が切れたことを確認してから取り外してください。
 - * 本体の電源が入っている状態でmicroSDカードを取り出すと、データ損失などの原因となります。
- ⚠ microSD カードは消耗品です。一定使用期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。
 - * microSDカードによる不具合が発生した場合は、新しい指定のmicroSDカードと交換してください。
- ⚠ 一般的にmicroSDカードには、寿命があります。（各メーカーにより異なります）
 - * microSDカードを長期間使用している、保証期間が切れているなどの原因でデータに異常が発生した場合、新しい指定のmicroSDカードと交換してください。
- ⚠ microSD カードを保管、または持ち歩くときは、必ずケースに入れてください。
 - * ケースに入れずに保管または持ち歩くとき、静電気および外部環境の原因により内部のデータが損失されることがあります。

- ❗ microSD カードを使用する際には、microSD カードのロックは必ず解除してください。
* microSDカードがロックされている場合は、記録、録音ができません。
- ❗ 重要なデータは、必ず他のデバイスにバックアップしてください。
* 外部環境、または長期間使用している間に、データが上書きされ消去される場合があります。
- ❗ microSD カードに保存されたデータは、バックアップして、定期的にフォーマット（推奨：週 1 回）して使用してください。
* 外部環境、または長期間使用している間に、データが削除されるおそれがあります。
- ❗ 指定の microSD カード以外は使用しないでください。
* 指定以外のmicroSDカードを使用すると、データの損失および故障の原因となります。
- ⊘ microSD カードスロットに異物を入れないでください。
* カードスロットの破損、または誤動作、故障の原因となります。
- ⊘ 油がついた手や濡れた手で microSD カードスロットを触らないでください。
* microSDカードの損傷、または故障などの原因となります。
- ⊘ データのバックアップ、フォーマットおよび動作中には、絶対に microSD カードを取り出さないでください。
* microSDカードを損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
- ⊘ microSD カードの分解、または改造などは、絶対にしないでください。
* microSDカードの破損するおそれがあります。
- ⊘ microSD カードを落下させたり、衝撃を与えないでください。
* microSDカードの破損、およびデータが損失されるおそれがあります。
- ⚠ microSD カードには向きがあります。挿入するときは向きを確認して、確実に最後まで差し込んでください。
* microSDカードが正しく挿入されていないと誤動作の原因となります。
- ⚠ microSD カードを別に購入する場合は、必ず使用可能か確認したうえでご購入ください。
* 本機は32GBまでご使用になれます。
* SDHC規格に準拠したmicroSDカードが使用できます。
* クラス4（Class 6）以上推奨。

使用上の注意

録画についての注意事項

- ・本機は自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- ・本機の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機の動作を確認するため、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- ・本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- ・LED方式の信号機では画面がチラつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、当社は一切の責任を負いません。
- ・走行中に本機を操作したり、LEDランプを注視しないでください。クイック録画／撮影機能をおこなう場合、周囲の安全を確認したうえで操作してください。
- ・録画の条件により、録画のフレームレートが変わる場合があります。

取り付けについての注意事項

- ・本機は、本書（P9参照）にしたがって、正しく取り付けてください。
誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。また交通事故やケガの原因となります。
- ・他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。

ディスプレイについて

- ・同じ映像を長時間や繰り返し表示（短時間でも）した場合、液晶ディスプレイの性質により画面の焼付けが起こる可能性があります。これは保証の対象になりません。ディスプレイの明るさを暗く調整することで、焼付けの発生を軽減できます。
- ・液晶ディスプレイの性質により、輝点や滅点が発生したりスジ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これは保証の対象になりません。
- ・ディスプレイを太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。車両に設置する際にはご注意ください。
- ・偏光サングラス使用時、表示が見えなくなる場合があります。

アイドリングストップ車での使用について

- ・一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分への供給電圧が低下することがあります。これにより本体の電源が落ちる場合があります。

製品の特徴

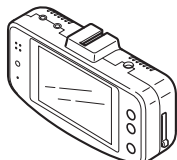
- 地上デジタルテレビでも電波干渉しない。
- 2.4インチIPSディスプレイ搭載
- 映像録画時に音声も録音可能
- 3Gセンサー搭載
- 常時録画モードとイベント録画モードを手動で選択可能
- 事故発生時、電源コードが外れても安心
- DC12V/24V車に対応
- 専用ビューアーソフト付属
- 撮影機能

本体/付属品

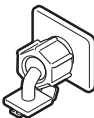
付属品

本機を使用する前に、必ず同梱物を確認してください。

* その他注意書きが同梱している場合がございます。



ドライブレコーダー本体



マウントベース



両面テープ



DCコード



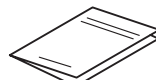
microSDカード



コードクリップ × 5



ビューアーソフト
(CD-ROM)

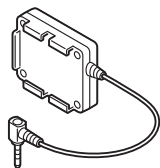


取扱説明書(本書)

オプション品

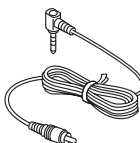
別途お買い求めください。

●GDO-01 GPSユニット



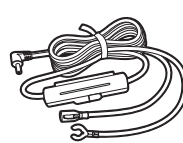
録画した映像にGPS情報や走行速度などの情報を付加することができます。ビューアーソフトで各種情報を表示できます。

●GDO-02 ビデオ出力コード



録画した映像を外部モニターに出力する場合に使用します。(P19参照)

●RO-103 直結配線用DCコード



はじめに

取り付けと
準備

基本操作

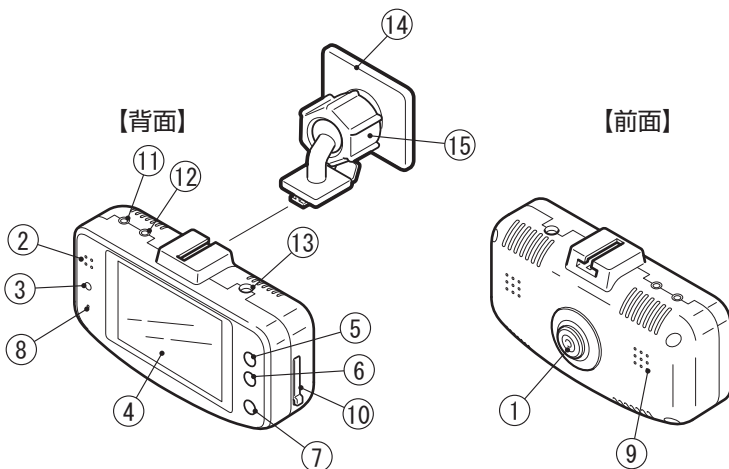
専用ソフト
の説明

困ったときは

その他

アフター
サービス

各部の名称と機能



① 撮影用カメラ

(CMOSカメラ 150万画素 視野角：120°)

* 出荷時に保護フィルムが貼られています。
剥がして使用してください。

② マイク

映像記録中の音声を録音します。

③ 録画状態ランプ

録画モードのときは点灯、再生または設定モードのときは点滅します。

④ ディスプレイ

カメラの録画映像、再生、設定メニューの変更画面などを表示します。

⑤ ▲ボタン (クイックボタン)

設定メニューの選択時や、クイック録画 / 撮影時に使用します。

⑥ ▼ボタン

設定メニューの選択時に使用します。

⑦ ENTボタン

設定メニューへの切り替えや、設定の確定に使用します。

⑧ リセットボタン

本機を再起動します。

⑨ スピーカー

各種警告を音声出力します。(モノラル)

⑩ microSDカードスロット

付属または市販の microSD カードを挿入します。
* microSD カードが挿入されていないと本機は動作しません。

⑪ GPS (GPS接続端子)

オプションの GPS ユニット (GDO-01) を接続します。

⑫ V-OUT (ビデオ出力端子)

オプションのビデオ出力コード (GDO-02) を接続します。

⑬ DCソケット

DC コードを接続し、DC1.2V/24V を本機に入力します。

⑭ マウントベース

付属の両面テープでフロントガラスに取り付けます。
* オプションの GPS ユニット (GDO-01) を使用する場合は、マウントベースに固定します。

⑮ 角度調整ノブ

本機の取り付け角度を調整します。

取り付け方法

⚠ 注意

本機を車両に取り付ける前に、次の内容を確認のうえ取り付けてください。

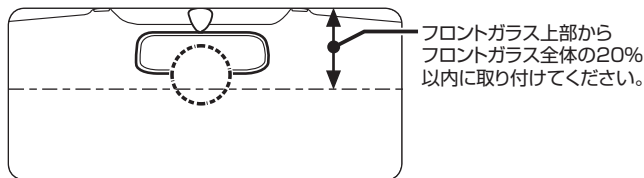
- 本機の誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。正しく取り付けてください。
- 本機を安全に取り付けるために、取り付け作業は明るく安全な場所でおこなってください。
- 本機を取り付ける前には、必ず車のエンジンを止め、キーを抜いた状態で取り付けてください。
- 本機に付属のDCコード以外のコードは使用しないでください。
- カメラを設置した部分のフロントガラスは、いつもきれいに保ってください。
- 本機の精度に影響が出ないようにオプションのGPSユニット付近にはETC、カーナビゲーションなど他の製品と離して取り付けてください。
- 夜間走行時にはカーナビゲーションおよび、車両用モニターがフロントガラスに映り込み、記録画像に影響を与えることがあります。映り込み画像が撮影領域に入らないように角度を調整してください。

⚠ 警告

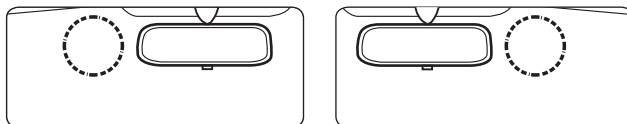
事故発生時の衝撃により本機が外れる場合がございます。フロントガラス面の汚れなどはきれいに拭き取り、本機を確実に取り付けてください。

推奨設置位置（参考）

取り付け位置 正面



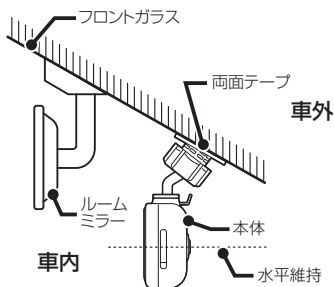
ルームミラーの後部、フロントガラスの中央に設置すると、最適の録画映像を得ることができます。



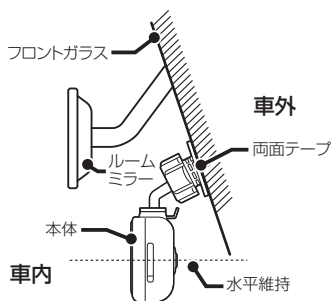
フロントガラスの中央部に設置できない場合は、広い視野角(120°)を活用してルームミラーの左、もしくは右側に設置することもできます。
中央部に設置できない場合、録画映像が片方にかたよる可能性があります。

取り付け位置 側面

■ 一般乗用車



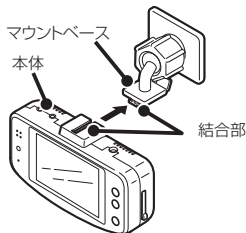
■ バスまたはトラック



- ・図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。
- ・本機が取り付け付いた状態で、図のように本体が水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。
- ・フロントガラスの角度が急な場合は、図のようにマウントベースを180度回転させ上下を逆にして、水平を維持してください。

本機取り付け

- 1 マウントベースと本体の結合部を合わせ、矢印の方向に差し込む。



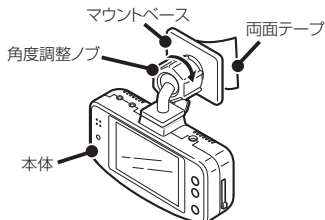
- 2 両面テープを使用して本機を設置する場所に取り付ける。

* 推奨設置位置を参照して、取り付けてください。

- 3 角度調整ノブを右側に回して本体を固定する。

角度調整ノブを緩めると本体の取り付け角度を調整できます。

* 必要に応じて、先にマウントベースを車両側に取り付けてから本体を設置してください。

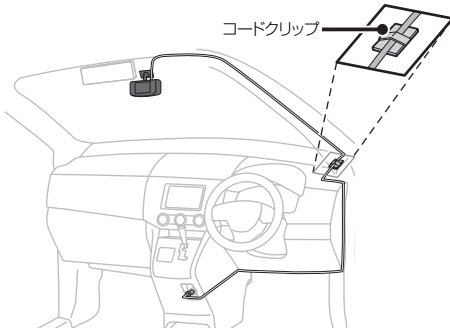


配線処理

DCコードのプラグを車両のシガーライターソケットに接続してください。

コード類は運転の妨げとならないように、付属のコードクリップなどを利用して、配線処理してください。

余分なコード類はビニールテープなどでしっかり束ねてください。コード類を表面に出したくない場合は、ガラスと内張りなどの隙間やパッキン類の隙間に入れます。

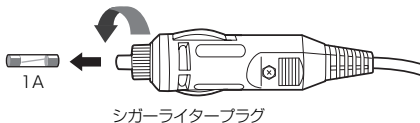


⚠ 注意

- 配線の際、エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業をおこなってください。また、エアバッグの内蔵されている部品などを外さないでください。必要な場合は、必ずカーディーラーの指示を受けてください。コードが可動部分に挟み込まれたり、無理に曲げたりしないように配線処理してください。
- コードを車のダッシュボードなどに固定した場合は、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、コードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。十分ご注意ください。

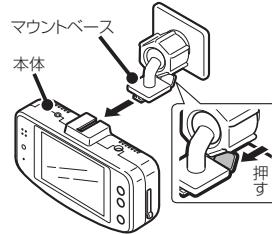
ヒューズが切れた場合

ヒューズ (1A) を交換します。



マウントベースから本体を取り外す

マウントベースのツメ部を押し、取り付け方法とは逆に本体を矢印の方向に引き外します。



はじめに

取り付けと準備

基本操作

専用ソフトの説明

困ったときは

その他

アフターサービス

microSDカードの挿入および取り出し

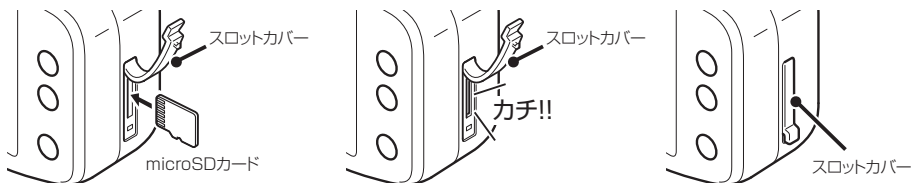
⚠ 注意

microSDカードを使う前に、次の内容を確認してご使用ください。

- microSDカードは、付属のmicroSDカードまたは本機で指定している市販のmicroSDカードをご使用ください。指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの損失や記録できない可能性があります。
- microSDカードを取り出すときは、車のエンジンを止めて、必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してください。（最大20秒程度かかります）その後microSDカードを取り出してください。動作LEDが点灯している状態でmicroSDカードを取り出すと録画を終了することができず、記録映像が中断されるか一部分が削除されるなど、場合によってはmicroSDカードが破損するおそれがあります。

microSDカードの挿入

microSDカードの挿入は製品の電源ON/OFFに関わらず挿入可能です。
挿入と同時に、本機が再起動いたします。

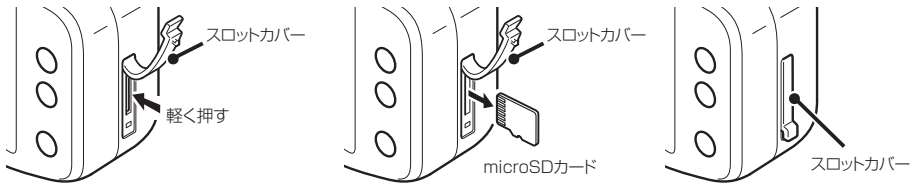


- 1 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードの向きに注意してスロットに差し込む。
- 2 microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認する。
- 3 スロットカバーを閉じる。

⚠ 注意

- microSDカードが挿入されていないと本機は動作しません。
- microSDカードには向きがあります。差し込む向きに注意して最後まで確実に挿入してください。正しく挿入されていないとmicroSDカードの破損、および誤動作の原因になります。
- microSDカードの接続端子には手を触れないでください。汚れや異物が付着するとカード内のデータが損失するおそれがあります。

microSDカードの取り出し



- 1 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードを軽く押し込む。
- 2 microSDカードを取り出す。
- 3 microSDカードを取り出したあと、スロットカバーを閉じる。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

専用ソフト
の説明

困ったときは

その他

アフター
サービス

製品の使用方法

⚠ 注意

製品を使用する前に次の内容を熟知してください。

- 車の運転中は本機の操作を絶対にしないでください。
- 映像の記録は、microSDカードが正しく挿入されているときのみ可能です。
- 映像の記録中にmicroSDカードが取り出されると警告音となり、記録の映像の一部が削除される場合があります。

電源のON/OFF



■ 電源のON

本機には電源ボタンがありません。電源を入れるには、DCコードが車両に繋がれている状態で車のエンジンをかけます。電源が投入されると、効果音が鳴りディスプレイが起動します。

- * ディスプレイに画面を表示させない場合は、設定メニューの「画面表示」をオフにしてください。(P21、22参照)

■ 電源のOFF

エンジンを停止させると最後の録画ファイルを安全に保存し、効果音のあと電源が自動的にOFFになります。

エラーメッセージ

SDカード認識エラー
SDカードが、「挿入されていない」
「フォーマットされていない」
「破損している」
などの異常です。

■ microSDカード認識エラー

microSDカードが「挿入されていない」、「フォーマットされていない」、「破損している」などの異常が発生した場合は、効果音が鳴り本機のディスプレイに次のようなエラーが表示されます。

- * ディスプレイに「SDカード認識エラー」を表示した場合は、microSDカードを挿入し直してください。(P12、13参照)

カメラに異常があります。
カスタマーセンター
までご連絡下さい。

■ カメラ異常エラー

カメラの初期化エラーなどが発生した場合は、効果音が鳴り本機のディスプレイに次のようなエラーが表示されます。

- * ディスプレイに「カメラに異常があります」を表示した場合は、取り付け方法 (P9参照) を確認してから、本機を再起動 (P14参照) してください。

ディスプレイ

本機が起動すると、次の画面を表示します。

操作ボタンを押して、設定メニューの変更または録画映像の再生ができます。

* 再生する場合は「再生モード」(P18参照)、設定メニューの変更は「設定の変更方法」(P21、22参照)をご覧ください。



■ 画面アイコンの種類

アイコン	内容
録画モード	録画モードの状態を表示します。
録画画質	録画画質の設定状態を表示します。
3G センサー感度	感度センサーの設定状態を表示します。
音声録音	音声録音のオン/オフを表示します。
GPS	オプションのGPSユニット(GDO-01)接続時にGPSを測位すると表示します。

日時設定の方法

正しい記録ができるように、本機に現在の日付および時間を設定してください。

* 設定中は、録画できません。

1 本機の**ENTボタン**を押して、メインメニュー画面に切り替える。



2 ▼▲ボタンを押して「日時」を選び、**ENTボタン**を押す。



3 ▼▲ボタンを押して、現在の日付および時間を入力する。

移動は、**ENTボタン**を押してください。(1秒以内)

確定は、**ENTボタン**を長押しします。(3秒以上)

ENTボタン短押：年月日時分秒の移動とカーソルデータのアップダウンとを交互に切り替えます

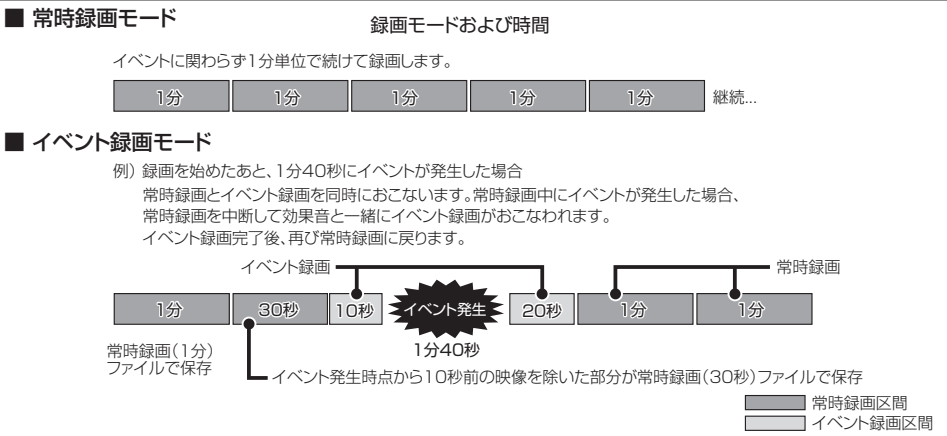
ENTボタン長押：確定

録画モード

本機が動作すると同時に録画が開始されます。

- 録画モードの状態は、画面のアイコンで確認できます。

常時録画モードとイベント録画モード



* イベントとは、衝撃を検知した場合という意味で使用しています。センサーが高感度に設定されている場合、細かな衝撃も検知します。センサー感度が低感度に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。センサーの感度調整は「専用ビューアーの環境設定(P27参照)」または「設定の変更方法“3Gセンサー感度”(P21、22参照)」で調整することができます。

* 記録映像がmicroSDカードの容量を超えた場合、古い記録映像データから順次自動消去されます。

* 常時録画とイベント録画で生成されたファイルは指定のフォルダに保存されます。

* 常時録画とイベント録画の各領域は、全体容量の3：1の割合で分割管理されています。

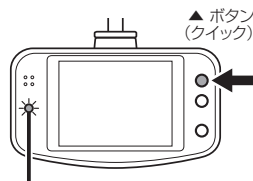
* 録画モードでイベント録画（手動による撮影も含む）をおこなっている最中は、ボタン操作を受け付けません。ボタン操作をおこなう場合は、常時録画中におこなってください。

例) 2GBのmicroSDカードを使用した場合

録画ファイル	保存フォルダ名	最大保存容量
常時録画ファイル	INFINITE	約 1.5GB (規格容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます)
イベント録画ファイル	EVENT	約 0.5GB (規格容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます)

クイック録画機能（手動）

イベントを手動で録画するための機能です。記録映像はmicroSDカードの[EVENT]フォルダに保存されます。

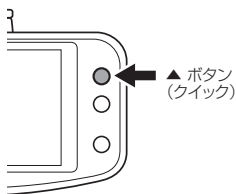


録画ランプ

- 1 本機の動作中に▲クイックボタンを押す。(1秒以内)
効果音が鳴り、手動にてイベント録画することができます。
録画モードの状態は、画面のアイコンもしくはLEDランプ(赤色点灯)で確認できます。
- * 録画映像は、ボタンを押した10秒前と20秒後を含み記録します。
 - * この機能は、本機がイベント録画中である場合は使用できません。

撮影機能（手動）

録画映像を手動で撮影するための機能です。撮影した画像（JPGファイル）はmicroSDカードの[CAPTURE]フォルダに保存されます。（撮影した画像の保存容量は100MBまでになります。）



- 1 本機の動作中に▲クイックボタンを長押しする。(3秒以上)
効果音が鳴り、手動にて映像を撮影することができます。
- * この機能は、本機がイベント録画中でも使用できます。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

専用ソフト
の説明

困ったときは

その他

アフター
サービス

再生モード

録画した記録映像を本機のディスプレイで再生することができます。

* 設定中は、録画できません。

1 本機の**ENTボタン**を押して、メインメニュー画面に切り替える。



2 ▼▲ボタンを押して「再生モードへ移動」を選び、**ENTボタン**を押す。

「再生モード」画面に切り替わります。



3 ▼▲ボタンを押して、「常時」または「イベント」を選び、**ENTボタン**を押す。

「再生ファイル」画面に切り替わります。

ENTボタン短押：確定

ENTボタン長押：キャンセル

4 ▼▲ボタンを押してファイルを選択し、**ENTボタン**を押す。

本機のディスプレイで再生が開始されます。

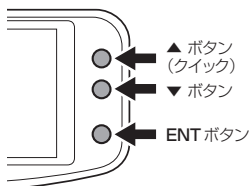
ENTボタン短押：確定

ENTボタン長押：戻る

* ファイルは、記録された時間の順に表示されます。

* 再生ファイルは、常時録画で1分、イベント録画で30秒です。

* 再生中に**ENTボタン**短押でファイル選択画面に戻ります。



再生中のボタン操作

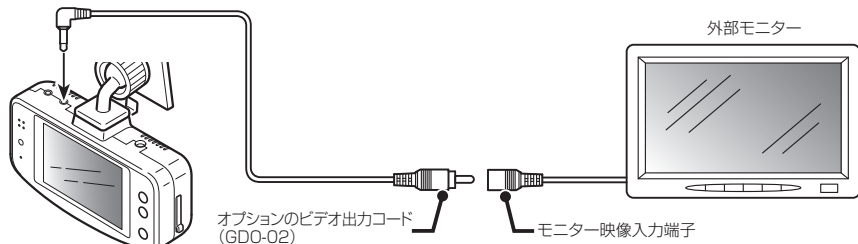
ボタン	再生中のボタン操作
▲ (クイック)	10秒前の映像に戻る
▼	10秒後の映像に進む
ENT	再生停止 (リスト画面に戻る)

外部モニター表示

オプションのビデオ出力コード (GDO-02) を外部モニターに接続するとディスプレイの映像を外部モニターに表示することができます。(映像のみ、音声は出力されません)

1 本機を下図のように外部モニターと接続する。

■ 外部モニターとの接続



2 本機の**ENTボタン**を押して、メインメニュー画面に切り替える。

3 ▼▲ボタンを押して「V-OUT」を選び、**ENTボタン**を押す。

4 ▼▲ボタンを押して「オン」を選び、**ENTボタン**を押す。

ENTボタン短押：確定
ENTボタン長押：キャンセル
 設定後メインメニューに戻ります。

5 ▼▲ボタンを押して「再生モードへ移動」または「録画モードへ移動」を選び、**ENTボタン**を押す。

- 再生モードにする場合は、「再生モードへ移動」を選択
- 録画モードにする場合は、「録画モードへ移動」を選択



* ディスプレイに戻す場合は、**ENTボタン**を押してください。オプションのビデオ出力コード (GDO-02) を外しても自動で切り替わりません。

* 外部モニターに映像を出力しているときは、本機のディスプレイはオフになります。

* 必ずオプションのビデオ出力コード (GDO-02) をご使用ください。他のコードを使用すると映像が正しく表示されない、または誤動作を起こす場合があります。

* モニターの種類によっては端子の形状が異なる場合があります。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

専用ソフトの説明

困ったときは

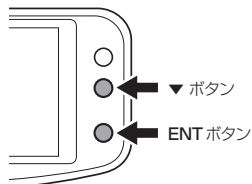
その他

アフターサービス

フォーマット

⚠ 注意

この機能を使用すると、録画したデータはすべて消去されます。必要に応じて記録データのバックアップをおこなってください。



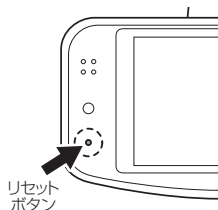
- 1 本機の**ENTボタン**と**▼ボタン**を同時に押した状態で、本機の電源を入れる。
フォーマットが実行されます。

- ディスプレイには「フォーマット実行中」と表示されフォーマット完了後自動的に録画モードが開始されます。

フォーマット実行中

システムリセット

本機が誤動作したり、止まってしまった場合、システムリセットをおこなってください。



- 1 ピンなどを使用してリセットボタンを押す。
本機がリセットされます。

GPS受信の確認

本機にオプションのGPSユニット（GDO-01）を接続すると、GPS信号を受信することができます。



- GPS信号の受信状態は、画面のアイコンで確認することができます。

各種の設定

設定の変更方法（例：操作音）

本機の各種設定を変更するには、以下の手順でメインメニュー画面に移動し、設定をおこなってください。

1 本機の**ENTボタン**を押して、ディスプレイをメインメニュー画面に切り替える。



2 ▼▲**ボタン**を押して、設定メニューを選び、**ENTボタン**を押す。



3 ▼▲**ボタン**を押し、設定内容を変更して**ENTボタン**を押す。
設定内容が切り替わります。

ENTボタン短押：確定
ENTボタン長押：キャンセル

* 設定中は、録画はできません。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

専用ソフト
の説明

困ったときは

その他

アフター
サービス

設定一覧

メインメニュー (選択：▼▲ / 確定：ENT)	設定値	設定内容 (選択：▼▲ / 確定：ENT)
操作音	2	3 : 操作音（大）にします。 2 : 操作音（中）にします。 1 : 操作音（小）にします。 0 : 操作音（無）にします。
音声録音	オン	オン : 音声録音をおこないます。 オフ : 音声録音をおこないません。
録画画質	高	高 : 録画画質を高画質に設定します。 標準 : 録画画質を標準画質に設定します。 低 : 録画画質を低画質に設定します。
3G センサー感度	標準	高 : 3G センサーを高感度に設定します。 標準 : 3G センサーを標準感度に設定します。 低 : 3G センサーを低感度に設定します。
画面明るさ	3	4 : モニターの輝度を最大にします。 3 2 1 : モニターの輝度を最小にします。
ディマー	オン	オン : ディマー機能を設定します。 オフ : ディマー機能を設定しません。
画面表示	オン	オン : モニターにカメラの映像を表示します。 オフ : モニターにカメラの映像を表示しません。
アイコン表示	オン	オン : 画面にアイコンを表示します。 オフ : 画面にアイコンを表示しません。
日時	年、月、日 時、分、秒	日時の設定方法は、「日時設定の方法」(P15)を参照してください。
再生モードへ移動	—	再生操作方法は、「再生モード」(P18)を参照してください。
録画モードへ移動	—	録画モードについては、「録画モード」(P16)を参照してください。
V-OUT (ビデオ出力)	オフ	オン : 外部モニターに映像を出力します。 オフ : 外部モニターに映像を出力しません。 * 接続方法は、「外部モニター表示」(P19)を参照してください。

* ディマーを「オン」にすると、4月～10月は18:00～5:00、11月～3月は17:00～6:00が夜間モードになります。

* 設定メニュー画面にて1分以上操作がない場合は、自動的に録画モードに切り替わります。

* 画面表示を「オフ」、V-OUTを「オン」に設定した場合、表示をV-OUTモードからディスプレイに戻すと自動的に画面表示は「オン」になります。

専用ビューアー

運行時の録画映像やルート、GPS情報、衝撃グラフなどの記録データを確認することができる専用ビューアーソフトです。

■動作環境 (PC推奨スペック)

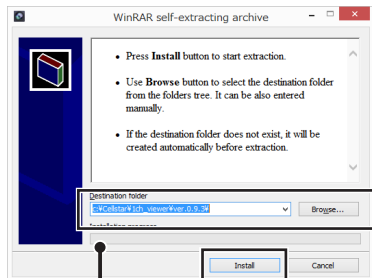
- ・ CPU: Pentium4 2.0 GHz以上
- ・ RAM容量: 1GB RAM以上
- ・ OS: WIN98/ME/2000/XP/VISTA/WIN7
- ・ HDD: 1GB以上の空き容量
- ・ GPU: Geforce4以降

専用ビューアーソフトのインストール方法

データを確認する場合は、ソフトをインストールしてください。

1 付属のビューアーソフト収録のCD-ROMをパソコンにセットし、CD-ROMを開き、「setup.exe」をダブルクリックする。

2 「Install」 ボタンをクリックして、プログラムファイルを解凍する。



「Install」 ボタン

* 必要に応じて、Backupファイルを保存するフォルダを選択することもできます。

3 「次へ」 ボタンをクリックする。



「次へ」 ボタン

4 インストール先のフォルダや使用者モードを選択し、「次へ」 ボタンをクリックする。



「次へ」 ボタン

使用者モードの選択 インストール先のフォルダを選択。

「キャンセル」：インストールを取り消します。

「戻る」 ：1つ前の画面に戻ります。

* インストール先は、パソコンの環境により異なります。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

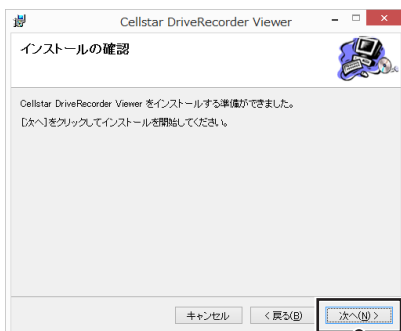
専用ソフトの説明

困ったときは

その他

アフターサービス

5 「次へ」ボタンをクリックし、インストールを開始する。



「次へ」ボタン

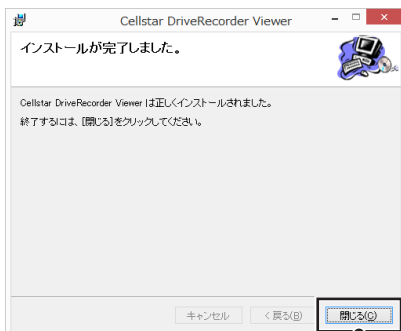
「キャンセル」：インストールを取り消します。

「戻る」：1つ前の画面に戻ります。

開始すると、インストールの進行状況が表示されます。



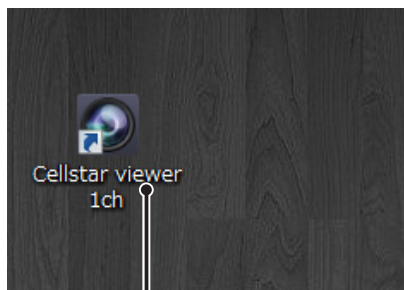
6 インストールが完了したら、「閉じる」ボタンをクリックし、プログラムファイルを終了する。



「閉じる」ボタン

6 WindowsのStartメニューのプログラムやデスクトップ上に「Cellstar Viewer 1ch」がインストールされたかを確認する。

* 手順5でインストール先のフォルダを変更した場合は、選択したフォルダ内を確認してください。



専用ビューアソフト
「Cellstar Viewer 1ch」のアイコン

7 必要であれば、パソコンから付属のmicroSDカードを取り出す。

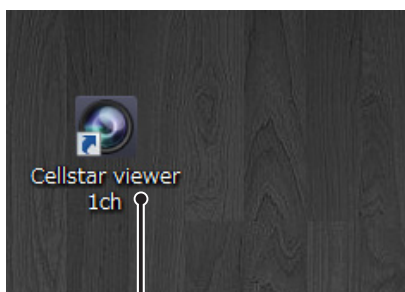
専用ビューアーの使い方

ビューアソフトの起動

インストールした専用のビューアソフト「Cellstar Viewer 1ch」を起動します。

- 1 WindowsのStartメニューのプログラムまたはデスクトップ上の「Cellstar Viewer 1ch」アイコンをダブルクリックする。

* インストール方法によっては、Startメニューのプログラムに「Cellstar Viewer 1ch」が表示されない場合があります。



専用ビューアソフト「Cellstar Viewer 1ch」のアイコン

「Cellstar Viewer 1ch」が起動し、下記の初期画面が表示されます。



ファイルの読み込み

ドライブレコーダーで録画したファイルビューアソフトに読み込みます。あらかじめ録画ファイルが入ったmicroSDカードを用意しておきます。

- 1 録画ファイルの入ったmicroSDカードをパソコンにセットする。
- 2 ビューアソフトを起動する。
- 3 「ファイルを開く」ボタンをクリックする。



「ファイルを開く」ボタン

別ウィンドウでフォルダ選択画面が表示されます。

- 4 microSDカードを開き、録画ファイルの入ったフォルダを選択し、「OK」ボタンをクリックする。



「OK」ボタン

フォルダ名	録画ファイルの種類
INFINITE	常時録画ファイル
EVENT	イベント録画ファイル

録画ファイルがビューアソフトに読み込まれ、ファイルリストに録画された時間順に追加されます。(P9参照)

* microSDカードのドライブを選択すると一括で録画ファイルを読み込むことができます。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

専用ソフトの説明

困ったときは

その他

アフターサービス

ビューアーソフト画面の見方



① 再生画面（車外カメラ映像）

再生画面をダブルクリックすると拡大できます。

② 設定調整ボタン

ドライブレコーダー本体の設定調整をおこなうための画面を表示します。付属の microSD カードが必要です。

③ 情報確認ボタン

ビューアソフトとドライブレコーダー本体のファームウェアのバージョン情報を表示します。

④ キャプチャーボタン

現在表示中の映像をキャプチャーして、静止画ファイル (JPEG) として保存します。

⑤ 最小化ボタン

ビューアソフト画面を最小化します。

⑥ 最大化ボタン

ビューアソフト画面を最大化します。元の表示画面に戻す場合は、再度クリックします。

⑦ 終了ボタン

ビューアソフトを終了します。

⑧ マップボタン

録画した映像の走行経路をマップ画面に表示します。オプションの GPS ユニット (GDO-01) とインターネットの環境が必要です。

⑨ ファイルリスト

再生可能なファイルを録画された時間順に表示します

⑩ 削除ボタン

選択したファイルを削除します。

⑪ 保存ボタン

選択したファイルをパソコンに保存します。

⑫ ファイルを開くボタン

録画した映像ファイルをファイルリストに読み込みます。

⑬ 衝撃センサー値

3G センサーで記録した、走行時の揺れや衝撃などをグラフで表示します。+/- ボタンでセンサー値の範囲を変更できます。

⑭ 操作ボタン

録画した映像の再生操作をおこないます。

⑮ 速度

録画した映像の走行時の速度を表示します。オプションの GPS ユニット (GDO-01) が必要です。

⑯ 再生速度調整バー

再生速度を 0.5/1/2/4 倍速で調整します。

⑰ シークバー

現在の再生位置を表示、変更します。

⑱ 音量調整バー

再生音量を調整します。

ファイルの再生

ファイルリストに読み込んだ映像ファイルを再生し、走行時の速度や車の揺れなどの情報を合わせて画面で確認することができます。

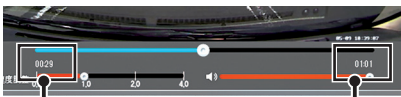
- 1 ファイルリストから再生するファイルを選んでダブルクリックまたは▶ボタンをクリックする。



▶ ボタン

ファイルリスト

再生画面（メイン画面）に映像が表示され、走行時の速度や車の揺れなどがグラフで表示されます。



再生時間

ファイルの
記録時間

再生中の操作ボタン

ボタン	操作内容
	映像を 1 秒前に戻します。
	映像を一時停止します。
	映像を停止します。
	映像を 1 秒後に進めます。
	ファイルリストの 1 つ前のファイルに戻します。
	ファイルリストの次のファイルに進めます。

ファイルの整列

ファイルリストの「常時」ボタン、「イベント」ボタンをクリックし常時録画ファイルやイベント録画ファイル別に表示させることができます。

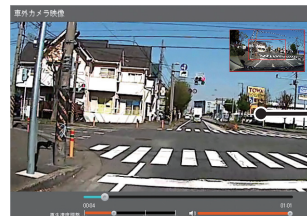
「イベント」ボタン

「常時」ボタン



画面の拡大

再生画面をダブルクリックすると拡大して表示させることができます。



ドラッグで移動

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

専用ソフト
の説明

困ったときは

その他

アフター
サービス

走行経路の確認

オプションのGPSユニット（GDO-01）を使って録画した映像ファイルを再生して、走行経路を地図上に表示し確認することができます。

- * 地図表示にはインターネットの環境が必要です。
- * GPSの測位状況により、実際の走行経路と大きくズれる場合があります。

1 GPSを測位しながら記録したファイルを選択して、再生する。

2 「マップ」ボタンをクリックする。
「マップ」ボタン



別ウィンドウで走行経路のマップ画面が表示されます。



3 マップ画面を閉じる場合は、再度「マップ」ボタンをクリックするか、×ボタンをクリックする。



再生映像のキャプチャー

再生中の映像をキャプチャーし、静止画ファイル（JPEG）として保存することができます。

- 1 ファイルを選択して、再生する。
- 2 キャプチャーしたい箇所で **II** ボタンをクリックして、映像を一時停止する。



II ボタン

- 3 「キャプチャー」ボタンをクリックする。

「キャプチャー」ボタン



別ウィンドウでキャプチャー保存画面が表示されます。

- 4 保存ファイルの名前と保存先を変更する。



- 5 「保存」ボタンをクリックする。
保存をやめる場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

専用ソフトの説明

困ったときは

その他

アフターサービス

ファイルの保存と削除

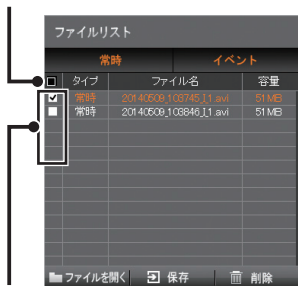
ファイルの保存

ファイルリストに読み込んだ映像ファイルのうち必要なものだけを選択して、パソコンに保存することができます。

1 保存したいファイルのチェックボックスをクリックする。

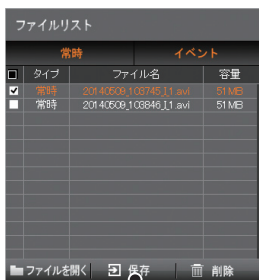
保存するファイルは同時に複数選択することもできます。全て保存する場合は、全選択のチェックボックスをクリックします。

全選択の チェックボックス



個別選択の チェックボックス

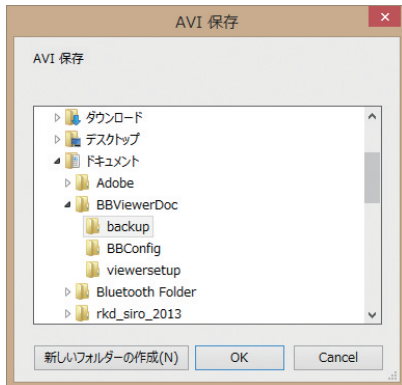
2 選択後、「保存」ボタンをクリックする。



「保存」ボタン

別ウィンドウでAVI保存画面が表示されます。

3 保存先を選択する。



4 「OK」ボタンをクリックする。 保存をやめる場合は「Cancel」ボタンをクリックします。

ファイルの削除

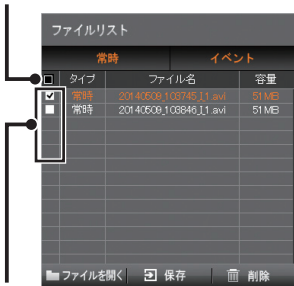
ファイルリストに読み込んだ映像ファイルから不要なものを選択して、microSDカード内のファイルを削除することができます。

* パソコン上にバックアップしたファイルを読み込んでいる場合、読み込み元のファイル自体を削除することはできません。

1 削除したいファイルのチェックボックスをクリックする。

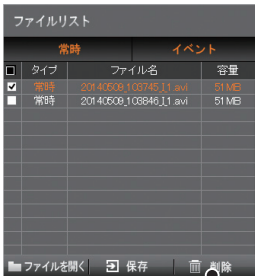
削除するファイルは同時に複数選択することもできます。全て削除する場合は、全選択のチェックボックスをクリックします。

全選択の チェックボックス



個別選択の チェックボックス

2 選択後、「削除」ボタンをクリックする。

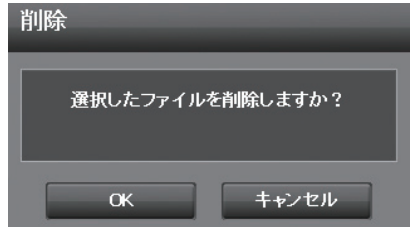


「削除」ボタン

別ウィンドウで確認画面が表示されます。

3 「OK」ボタンをクリックする。

削除をやめる場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。



はじめに

取り付けと
準備

基本操作

専用ソフト
の説明

困ったときは

その他

アフター
サービス

各種設定の変更

設定の変更方法

ドライブレコーダー本体の設定をビューアソフトを使って変更することができます。設定を変更するには、付属のmicroSDカードが必要です。あらかじめご用意ください。ドライブレコーダー本体でも設定の変更がおこなえます。詳しくは、本体編の説明書をご覧ください。

* 設定画面はモデルにより異なります。

- 1 付属のmicroSDカードをパソコンにセットする。
- 2 ビューアソフトを起動する。
- 3 「設定調整」ボタンをクリックする。

「設定調整」ボタン



別ウィンドウで設定調整画面が表示されます。

* 市販のmicroSDカードを使用した場合、設定ファイルを作成し、モデル選択をおこなう必要があります。

- 4 各種設定を変更する。
設定項目の内容については16～17ページをご覧ください。



- 5 画面下部の「適用」ボタンまたは「OK」ボタンをクリックする。

「OK」ボタンをクリックすると変更した設定内容を適用し、設定調整画面を閉じます。



「適用」ボタン 「OK」ボタン

×ボタン



「閉じる」ボタン

設定内容を工場出荷時の状態に戻す場合は、「初期値」ボタンをクリックします。



「初期値」ボタン

設定調整画面の見方



* 初期値についてはドライブレコーダー本体の取扱説明書を参照してください。

* 設定できる項目はモデルにより異なります。詳しくは、ドライブレコーダー本体の取扱説明書を参照してください。

	設定項目	設定内容
①	録画画質	録画画質を高い、標準、低いで設定します。
②	録画モード	録画モードを設定します。
③	3G センサー感度	3G センサーの感度をレベル0～レベル9の10段階で設定します。 数字が大きくなるほど感度が高くなります。 * 3Gセンサーの感度はビューアソフトでのみ10段階の調整が可能です。
④	日時	ドライブレコーダー本体の日付、時刻を設定します。
⑤	フォーマット	microSD カードをフォーマットします。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

専用ソフト
の説明

困ったときは

その他

アフター
サービス

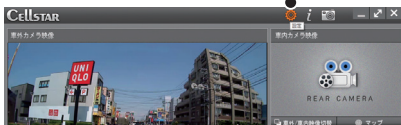
日時の設定

ドライブレコーダー本体の日付および時刻を設定することができます。

1 付属のmicroSDカードをパソコンにセットし、ビューアソフトを起動する。

2 「設定調整」ボタンをクリックする。

「設定調整」ボタン



別ウィンドウで設定調整画面が表示されます。

3 日付および時刻を変更する。

パソコンの時刻と合わせる場合 (同期) : **チェックボックス**をクリックします。



チェックボックス

任意設定の場合 :

「カレンダー」ボタンをクリックし、変更する日付を選びます。

「カレンダー」ボタン



時間、分、秒それぞれクリックして▲▼ボタンをクリックして時刻を合わせます。

時間 : 分 : 秒



▲▼ボタン

4 日時の「適用」ボタンをクリックする。



「適用」ボタン

5 画面下部の「適用」ボタンまたは「OK」ボタンをクリックする。

「OK」ボタンをクリックすると変更した設定内容を適用し、設定調整画面を閉じます。



「適用」ボタン 「OK」ボタン

注意

- 正しく日時を設定しないとディマラー機能は動作しません。
- 初めて動作した時や長時間動作していなかった場合は、再度設定が必要です。

フォーマット

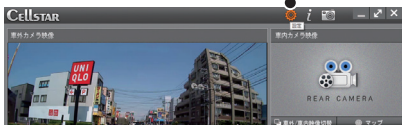


- ・この機能を使用すると、録画したデータはすべて消去されます。必要に応じて記録データのバックアップをおこなってください。
- ・microSDカード内の録画したデータが破損した際、製品本体で異常状態を確認できない場合があります。定期的 (1週間に1回を推奨) にmicroSDカードをフォーマットしてください。

1 付属のmicroSDカードをパソコンにセットし、ビューアソフトを起動する。

2 「設定調整」ボタンをクリックする。

「設定調整」ボタン



別ウィンドウで設定調整画面が表示されます。

3 「フォーマット」ボタンをクリックする。

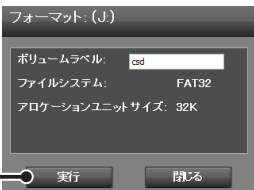


「フォーマット」ボタン

別ウィンドウで確認画面が表示されます。

4 「実行」ボタンをクリックする。

フォーマットをやめる場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。



「実行」ボタン

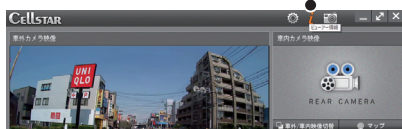
バージョン情報の確認

ビューアソフトとドライブレコーダー本体のファームウェアのバージョン情報を確認することができます。

1 付属のmicroSDカードをパソコンにセットし、ビューアソフトを起動する。

2 「情報確認」ボタンをクリックする。

「情報確認」ボタン



別ウィンドウでバージョン情報画面が表示されます。

3 情報を確認して「OK」ボタンをクリックしてバージョン情報画面を閉じる。

microSDカードのデータについて

■データ保存について

- イベント録画フォルダ (EVENT)
イベント発生時に30秒間の動画および音声、クイック録画機能で録画した動画を保存します。
(microSDカード全体容量の25%を使用)
- 常時録画フォルダ (INFINITE)
常時録画された1分間の動画および音声を保存します。(microSDカード全体容量の70%を使用)
- 撮影フォルダ (CAPTURE)
キャプチャーした画像を保存します。(100MB固定)

■その他のファイルについて

- _system_ini.cfg
PC Viewerの環境設定を_system_ini.cfgファイル形式でmicroSDカードに保存し、本機は初期起動時にこの設定情報を読み込み適用します。
_system_ini.cfgファイルがない場合は、基本設定を適用します。
- _time_ini.cfg
任意時間 (RTC) を保存します。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

症状	考えられる原因	参照
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">DCコードは、シガーライターソケットに接続されていますか。本機のDCジャックとDCコードは接続されていますか。シガーライター用DCコードのヒューズが切れていませんか。	P8,P11
	<ul style="list-style-type: none">シガーライターソケットにタバコくずが付着していませんか。付着している場合は、タバコくずなどをきれいに拭きとってください。	—
録画が開始されない	<ul style="list-style-type: none">microSDカードは正しく挿入されていますか。 * microSD カードが挿入されていないと本機は動作しません。	P12
	<ul style="list-style-type: none">microSDカードは正しく挿入されていますか。 * microSD カードに異常がある場合もエラーとなり録画が開始されません。その場合は、microSD カードを取り換えてご使用ください。その際は指定のmicroSD カードをご使用ください。	P5 P12-P13
急ブレーキや急加速のときでも、データが保護されない。または直ぐに反応してしまう	<ul style="list-style-type: none">専用ビューアーの環境設定の「3Gセンサー感度」を調整してください。 *使用状況に合わせて、この設定を調整することをお勧めします。	P33
ひんばんに録画されるまたは録画されない	<ul style="list-style-type: none">専用ビューアーの環境設定の「3Gセンサー感度」を調整してください。 *使用状況に合わせて、この設定を調整することをお勧めします。	P33
画面を表示しない	<ul style="list-style-type: none">外部モニター表示になっていませんか。設定メニューで「V-OUT (ビデオ出力)」をオフにしてください。	P19

はじめに

取り付けと準備

基本操作

専用ソフトの説明

困ったときは

その他

アフターサービス

製品の仕様

■CSD-260の仕様

車外撮影用カメラ	撮像素子	150万画素 CMOS カメラ
	フレームレート	22fps
	視野角	120°
	最低被写体照度	1.33LUX
録画画質	高画質 (2.25Mbps) / 標準 (1.85Mbps) / 低画質 (1.45Mbps)	
録画圧縮	AVI	
録画トリガ	常時録画 / イベント録画 / クイック録画	
3G センサー	衝撃感度	10段階
対応外部記憶媒体	microSD カード 4GB ~ 32GB (クラス6/SDHC 規格準拠)	
記録データ	日時、加速度、走行速度*、位置情報*、映像ファイル *オプションの GPS ユニット (GDO-01) が必要	
音声録音	有リ	
外部映像出力	有リ	
インターネット地図連動	有リ	
電源電圧	DC12V/24V	
動作温度範囲	-10℃ ~ +60℃	
サイズ	93 (W) × 25 (D) × 53 (H) mm ※突起部含まず	
本体重量	75g	

■撮影可能時間の目安

常時録画 / microSD カードの容量	録画品質		
	高画質	標準	低画質
2GB	約 80 分	約 100 分	約 120 分
4GB	約 160 分	約 200 分	約 250 分
8GB	約 330 分	約 400 分	約 510 分
16GB	約 660 分	約 800 分	約 1020 分
32GB	約 1320 分	約 1600 分	約 2050 分

イベント録画 / microSD カードの容量	録画品質		
	高画質	標準	低画質
2GB	約 20 分	約 30 分	約 40 分
4GB	約 50 分	約 70 分	約 90 分
8GB	約 110 分	約 140 分	約 180 分
16GB	約 230 分	約 280 分	約 360 分
32GB	約 470 分	約 570 分	約 730 分

撮影の状況、被写体などにより記録されるファイルサイズは一定でないため、記録可能時間に差が生じる場合があります。上記は、あくまでも目安となります。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

専用ソフト
の説明

困ったときは

その他

アフター
サービス

アフターサービスについて

修理に関して

■ 修理に必要なもの

- ・取扱説明書（保証書欄、修理受付票記入）
- ・修理する製品

■ 保証書と修理受付票のご記入に関して

保証期間中

本書裏表紙の保証書と修理受付票（P35参照）に必要な事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。保証書の規定にしたがって無料で修理および調整させていただきます。

- * ご注意：保証期間中であっても有償修理となる場合がございますので保証規定をよくお読みください。保証書の所定事項（製品名、お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合は、有償修理となります。保証期間中であっても、部品入手不可能により修理ができなくなる場合があります。

保証期間が過ぎているとき

修理受付票（P35参照）に必要な事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。

■ 修理受付票に関して

修理受付票は、以下の方法でも入手できます。

郵送をご希望のお客様

カスタマーサービスまでお問い合わせください。
フリーダイヤル：0120-75-6867
（携帯電話・PHSからは、046-275-6867）

FAXでご希望のお客様

FAXサービスまでお問い合わせください。
FAX：046-275-1171（音声ガイダンス）データ番号051で24時間FAXにてお取り出しできます。

ダウンロードをご希望のお客様

インターネットブラウザより以下のアドレスにアクセスしてください。

（修理受付票PDFダウンロード：48KB）
http://www.cellstar.co.jp/products/customer/repair_card.pdf

■ 修理をご依頼される前に

- 1 故障かな？と思ったら（P30参照）を参考に故障かどうかをご確認ください。
- 2 弊社ホームページ「お客様サポート」－「よくあるご質問（FAQ）」をご確認ください。

3 弊社ホームページに修理金額の目安が記載されています。事前にご確認ください。

http://www.cellstar.co.jp/customer/repair_price.pdf

- * ご依頼内容の確認のため、記入後必ずコピーを取りお客様控えとしてお手元に保管してください。
- * セルスター工業アフターサービスへ修理品をご送付いただく際、迅速かつ適切な修理をおこなうため、本書裏表紙の保証書と修理受付票（P35参照）に必要な事項をご記入の上、製品に添付してください。
- * 修理品などをお送りいただく際の送料に関しては、お客様負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 名称、所在地、電話番号は変更される場合があります。ご確認ください。

■ 修理の流れ

1 ご不明な点は、弊社カスタマーサービスにご連絡ください。



フリーダイヤル

0120-75-6867（無料）

【受付時間】 9：00～17：30

（土・日・祝日および、弊社休業日を除く）
携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用にならない場合：046-275-6867

- * 修理する製品、保証書をお手元にご用意の上でおかけになるとスムーズにご相談いただけます。

2 修理品の送付先 セルスター工業 アフターサービス

〒518-1145
三重県伊賀市安場字東赤坂 1608-5
TEL. 0120-75-6867

お客様へのお願い

- * 修理・点検作業の際、本機は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。
- * 保証期間の有無に関わらず、送料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 運送中の衝撃などに耐えられるよう、梱包をお願いします。
- * 運送中の破損紛失などについては、弊社では一切の責任を負いません。
- * 有償修理作業完了後、代金引換便にてご返送させていただきます。（処分依頼はお受けいたしませんので、ご返却させていただきます）

個人情報の利用目的について

本機に対するお問い合わせや修理をご依頼される場合の個人情報には次の目的のみ利用されます。

- ① 当社製品・サービスに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため。
- ② 製品の企画、開発、販売促進、営業活動にお客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため。

修理受付票

製品名：CSD-260

ご依頼される前に必ず取扱説明書（本書）をお読みいただき、修理受付票と、裏表紙の保証書にご記入の上、修理依頼品と一緒に添付してお送りください。

お客様ご記入欄

お客様名：	ご住所：□□□□-□□□□□□
ご自宅電話番号：	
FAX番号：	
日中ご連絡可能な電話番号：	<input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> ご勤務先 <input type="checkbox"/> その他（ ）

ご購入日：	お見積り連絡： <input type="checkbox"/> 不要 / <input type="checkbox"/> 必要（ ）円以上の修理の場合に連絡
同梱した付属品：合計（ ）点	※不要を選択の場合、お見積りでの連絡はいたしません。なお、お見積り金額に関わらず、修理させていただきます。
①	具体的な症状： <input type="checkbox"/> 常に発生する <input type="checkbox"/> 時々発生する <input type="checkbox"/> 特定の条件で発生する
②	できるだけ詳しくご記入ください。
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧

修理品返却先 ※上記住所以外への返却の場合にご記入ください。

お客様名：	ご住所：
ご自宅電話番号：	

保証書

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容を良くお読みのと、大切に保管してください。

本証は、弊社の厳密な検査のもと生産、出荷されたものであることを証明し、本証の保証期間内に正常な使用状態において故障した場合には、本証記載内容のとおり無料で修理および調整をおこなうことをお約束するものです。修理をご依頼する際には修理受付票（P35参照）も併せてご記入ください。

製品名：CSD-260	お買い上げ年月日： 年 月 日	
販売店様 ※必ず、ご記入ください。	保証期間 1年	
ご住所：		
お電話：		
		お買い上げ 年月日から 1年間有効

以下の場合には保証の対象外となります。

- ①本製品に付属の取扱説明書に記載された使用方法や注意事項に反した取扱によって生じた故障・破損
- ②誤用・乱用および取扱不注意による故障
- ③火災・地震・風水害・落雷・その他天災地変や公害・塩害・水掛かり・異常電圧による故障
- ④不当な修理に起因する故障や、分解・改造の痕跡がみられる故障
- ⑤使用中に生じた傷など外観上の変化
- ⑥保存状態が適切でなかった場合
- ⑦業務目的でご使用になった場合
- ⑧バッテリー・ディスプレイ装置など消耗品および付属品の交換
- ⑨本証の提示がない場合
- ⑩本証の所定事項（お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合

- ・取付不良、接続不良、不適切な使用状態による車の故障や事故などの附随的損害の補償については一切この責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- ・本証は日本国内においてのみ有効です。また本証の再発行はいたしませんので大切に保存ください。

修理・点検をご依頼される際の注意事項

設定の記憶やお客様が情報を登録できる製品につきましては、修理・点検作業の際、本製品は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。

販売店様へのお願ひ 保証書欄にお買い上げ年月日、店名、ご住所、お電話番号をご記入の上、お客様へお渡しください。

お客様相談窓口

■電話でのお問い合わせ



フリーダイヤル

0120-75-6867（無料）

【受付時間】 9:00～17:30

（土・日・祝日および、弊社休業日を除く）

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用にならない場合：046-275-6867

■メールでのお問い合わせ

お問い合わせフォームより質問を送信してください。

<https://www.cellstar.co.jp/inquiry/mail.html>

※ご返答までに1週間程度のお時間をいただく場合があります。

■セルスター工業株式会社 カスタマーサービス

〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32

各拠点一覧

- 北海道地区 北海道セルスター工業株式会社
〒004-0843 札幌市清田区清田三条 1-3-1
TEL.011-882-1225 (代) / FAX.011-881-7251
- 東北地区 セルスター工業（株）仙台営業所
〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字原田 158
TEL.022-218-1100 (代) / FAX.022-218-1110
- 関東地区 セルスター工業（株）本社
〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野 7-17-32
TEL.046-273-1100 (代) / FAX.046-273-1106
- セルスター工業（株）水戸営業所
〒310-0903 茨城県水戸市堀町795-2
TEL.029-254-6911 (代) / FAX.029-255-1420

- 東海・北陸地区 セルスター工業（株）名古屋営業所
〒464-0025 愛知県名古屋千種区桜が丘295番地
第8オオタビル 4F
TEL.052-789-0099 (代) / FAX.052-789-1510
- 関西・中国・四国地区 セルスター工業（株）大阪営業所
〒562-0004 大阪府箕面市牧落 3-8-7
TEL.072-722-1880 (代) / FAX.072-722-5575
- 九州地区 セルスター工業（株）福岡営業所
〒811-1314 福岡県福岡市南区的場二丁目15番16号
TEL.092-588-1101 (代) / FAX.092-588-0057
- 名称、所在地、電話番号は変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

全国自動車用品工業会会員

<http://www.cellstar.co.jp>

CELLSTAR®

セルスター工業株式会社